

## 宇治市の都市構造について



## 1. 都市構造レーダーチャート

### (1) 都市構造の評価の目的

宇治市の都市構造について、「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省都市局都市計画課)に基づき、人口減少、高齢化の更なる進展が見込まれる中、都市計画マスタープランの策定に向け、都市構造の評価を行うことを目的とする。

「都市構造の評価に関するハンドブック」については、平成26年8月に、立地適正化計画制度の創設等を内容とする改正都市再生特別措置法が施行され、各都市におけるコンパクトなまちづくりを支援する参考図書として都市構造のコンパクトさを評価する手法をとりまとめたものとなっている。

今回、都市構造評価については、国土交通省「都市モニタリングシート全体表 H29 (2017) 年度」を採用している。

### (2) 都市構造評価の活用意義

日常生活(市民)の視点も勘案して評価指標を設定しており、本評価手法を活用することにより、都市構造のコンパクトさを多角的見地から評価するとともに、生活利便性など都市生活の快適さを評価することも可能と考えられている。

#### ① 都市及び都市構造の現状に係る健康診断が可能となる

現況都市構造にかかる評価結果について、類似規模都市平均値との比較や他分野の評価結果の相互比較等を行うことにより、どのような分野において課題があるのか客観的、定量的に把握することが可能となる。

#### ② 効率的な都市構造の集約化が可能となる

評価指標は、都市構造のコンパクトさと関連性を有する項目を中心に設定されていることから、当該指標に着目し、この数値を改善する施策を講じることにより、市民生活や都市・経済活動の改善にも寄与する形で、コンパクトなまちづくりを効率的に進めることが可能となるものと考えている。

#### ③ 都市生活、都市経済、都市経営など都市の総合力の評価が可能となる

評価指標は、日常生活(市民)の視点も加味して設定されており、都市構造のコンパクトさのみならず、生活利便性、都市経済の活発さ、都市経営の健全さなど、都市の総合力を評価することも可能です。

資料：都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市整備課）より抜粋

### (3) 都市構造の指標

都市の現状をもとに、「都市構造の評価に関するハンドブック」にて将来値の推計が可能な評価指標として挙げられている、以下の項目で都市構造を評価する。

資料：都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市整備課）

| 評価分野・評価軸(※1) |            | 指標項目(※2) |   |
|--------------|------------|----------|---|
| 生活利便性        | 居住機能の適切な誘導 | 1        | 日常生活サービスの徒歩圏充足率                                 |
|              |            | 2        | 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率<br>医療施設・福祉施設・商業施設徒歩圏（800m）   |
|              |            | 3        | 基幹的公共道路線の徒歩圏人口カバー率_駅（800m）<br>またはバス停留所徒歩圏（300m） |
|              | 都市機能の適正配置  | 4        | 生活サービス施設の利用圏平均人口密度<br>医療施設・福祉施設・商業施設徒歩圏（800m）   |
| 健康・福祉        | 都市生活の利便性向上 | 5        | 高齢者徒歩圏における医療機関のない住宅の割合                          |
|              |            | 6        | 保育所の徒歩圏 0～4 歳人口カバー率_保育所徒歩圏（800m） ※0～4 歳         |
|              | 歩きやすい環境の形成 | 7        | 公園緑地の徒歩圏人口カバー_公園緑地徒歩圏都市公園（街区、近隣、地区）800m 市街化区域   |

### (4) 各評価分野・評価軸(※1)の目的について

#### 生活利便性

居住機能の適切な誘導：都市機能誘導区域など生活利便性の高い区域及びその周辺に居住が誘導され、徒歩圏で必要な生活機能等を楽しむことを評価

都市機能の適正配置：都市機能が生活の拠点など適切な区域に立地、集積していることを評価

#### 健康・福祉

都市生活の利便性向上：日常生活サービス機能や公共交通サービスが徒歩圏域で充足していることを評価

歩きやすい環境の形成：歩行者空間が充実し、公園緑地も住まいの近くに配置されるなど歩きやすい環境が整備されていることを評価

### (5) 指標項目(※2)について

- 1 日常サービス(生活サービス施設及び基幹的公共道路線)を徒歩圏で享受できる市民の割合

医療施設：内科または外科を有する病院・診療所

福祉施設：通所系、訪問系施設及び小規模多機能施設

商業施設：専門・総合スーパー、百貨店

基幹的公共交通：日30本以上のサービス水準を有する鉄道路線・バス路線

- 2 生活サービス施設の徒歩圏（半径800m）に居住する人口の総人口に占める比率
- 3 基幹的公共道路線の鉄道駅（半径800m）、バス停（半径300m）の徒歩圏に居住する人口の総人口に占める比率
- 4 生活サービス施設の徒歩圏（半径800m）の区域における平均人口密度
- 5 最寄り医療機関までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
- 6 保育所の半径800m圏域の0～4歳人口を都市の0～4歳総人口で除した値
- 7 都市公園の位置（代表点）から半径800mの圏域内人口を都市の総人口で除した値

## (6) 類似都市との比較

総務省の市町村類型区分によると、宇治市はⅣ-3の類型であり、近隣県の一般市では、和泉市、伊丹市、川西市が該当する。(類型Ⅳ-3：一般市のうち人口規模15万人以上で産業構造において2次、3次産業割合が90%以上かつ3次産業割合が65%以上)

| (一般市)      |     |            |     |             |     |
|------------|-----|------------|-----|-------------|-----|
| 団体名        | 類型  | 団体名        | 類型  | 団体名         | 類型  |
| 名張市        | Ⅱ-2 | 富田林市       | Ⅲ-3 | 天理市         | Ⅱ-3 |
| 尾鷲市        | Ⅰ-3 | 河内長野市      | Ⅲ-3 | 橿原市         | Ⅲ-3 |
| 亀山市        | Ⅰ-2 | 松原市        | Ⅲ-3 | 桜井市         | Ⅱ-3 |
| 鳥羽市        | Ⅰ-1 | 大東市        | Ⅲ-2 | 五條市         | Ⅰ-1 |
| 熊野市        | Ⅰ-3 | 和泉市        | Ⅳ-3 | 御所市         | Ⅰ-2 |
| いなべ市       | Ⅰ-2 | 箕面市        | Ⅲ-3 | 生駒市         | Ⅲ-3 |
| 志摩市        | Ⅱ-1 | 柏原市        | Ⅱ-2 | 香芝市         | Ⅱ-3 |
| 伊賀市        | Ⅱ-2 | 羽曳野市       | Ⅲ-3 | 葛城市         | Ⅰ-2 |
|            |     | 門真市        | Ⅲ-1 | 宇陀市         | Ⅰ-1 |
|            |     | 摂津市        | Ⅱ-3 |             |     |
| <b>滋賀県</b> |     | 高石市        | Ⅱ-3 | <b>和歌山県</b> |     |
| 彦根市        | Ⅲ-2 | 藤井寺市       | Ⅱ-3 | 海南市         | Ⅱ-2 |
| 長浜市        | Ⅲ-2 | 泉南市        | Ⅱ-3 | 橋本市         | Ⅱ-3 |
| 近江八幡市      | Ⅱ-2 | 四條畷市       | Ⅱ-3 | 有田市         | Ⅰ-0 |
| 草津市        | Ⅲ-2 | 交野市        | Ⅱ-3 | 御坊市         | Ⅰ-1 |
| 守山市        | Ⅱ-2 | 大阪狭山市      | Ⅱ-3 | 田辺市         | Ⅱ-1 |
| 栗東市        | Ⅱ-2 | 阪南市        | Ⅱ-3 | 新宮市         | Ⅰ-3 |
| 甲賀市        | Ⅱ-2 |            |     | 紀の川市        | Ⅱ-1 |
| 野洲市        | Ⅱ-2 | <b>兵庫県</b> |     | 岩出市         | Ⅱ-3 |
| 湖南市        | Ⅱ-2 | 洲本市        | Ⅰ-1 |             |     |
| 高島市        | Ⅰ-2 | 芦屋市        | Ⅱ-3 | <b>鳥取県</b>  |     |
| 東近江市       | Ⅲ-2 | 伊丹市        | Ⅳ-3 | 米子市         | Ⅲ-3 |
| 米原市        | Ⅰ-2 | 相生市        | Ⅰ-2 | 倉吉市         | Ⅰ-1 |
|            |     | 豊岡市        | Ⅱ-3 | 境港市         | Ⅰ-3 |
| <b>京都府</b> |     | 赤穂市        | Ⅰ-2 |             |     |
| 福知山市       | Ⅱ-1 | 西脇市        | Ⅰ-2 | <b>島根県</b>  |     |
| 舞鶴市        | Ⅱ-3 | 三木市        | Ⅱ-2 | 浜田市         | Ⅱ-3 |
| 綾部市        | Ⅰ-1 | 高砂市        | Ⅱ-2 | 出雲市         | Ⅳ-2 |
| 宇治市        | Ⅳ-3 | 川西市        | Ⅳ-3 | 益田市         | Ⅰ-1 |
| 宮津市        | Ⅰ-1 | 小野市        | Ⅰ-2 | 大田市         | Ⅰ-1 |
| 亀岡市        | Ⅱ-3 | 三田市        | Ⅲ-3 | 安来市         | Ⅰ-1 |
| 城陽市        | Ⅱ-3 | 加西市        | Ⅰ-2 | 江津市         | Ⅰ-3 |
| 向日市        | Ⅱ-3 | 篠山市        | Ⅰ-1 | 雲南市         | Ⅰ-1 |
| 長岡京市       | Ⅱ-3 | 養父市        | Ⅰ-2 |             |     |
| 八幡市        | Ⅱ-1 | 丹波市        | Ⅱ-2 | <b>岡山県</b>  |     |
| 京田辺市       | Ⅱ-3 | 南あわじ市      | Ⅰ-0 | 津山市         | Ⅲ-1 |
| 京丹後市       | Ⅱ-1 | 朝来市        | Ⅰ-2 | 玉野市         | Ⅱ-2 |
| 南丹市        | Ⅰ-1 | 淡路市        | Ⅰ-1 | 笠岡市         | Ⅰ-2 |
| 木津川市       | Ⅱ-3 | 宍粟市        | Ⅰ-2 | 井原市         | Ⅰ-2 |
|            |     | 加東市        | Ⅰ-2 | 総社市         | Ⅱ-1 |
| <b>大阪府</b> |     | たつの市       | Ⅱ-2 | 高梁市         | Ⅰ-1 |
| 池田市        | Ⅲ-3 |            |     | 新見市         | Ⅰ-1 |
| 泉大津市       | Ⅱ-3 | <b>奈良県</b> |     | 備前市         | Ⅰ-2 |
| 貝塚市        | Ⅱ-3 | 大和高田市      | Ⅱ-3 | 瀬戸内市        | Ⅰ-1 |
| 守口市        | Ⅲ-3 | 大和郡山市      | Ⅱ-3 | 赤磐市         | Ⅰ-1 |
| 泉佐野市       | Ⅲ-3 |            |     |             |     |

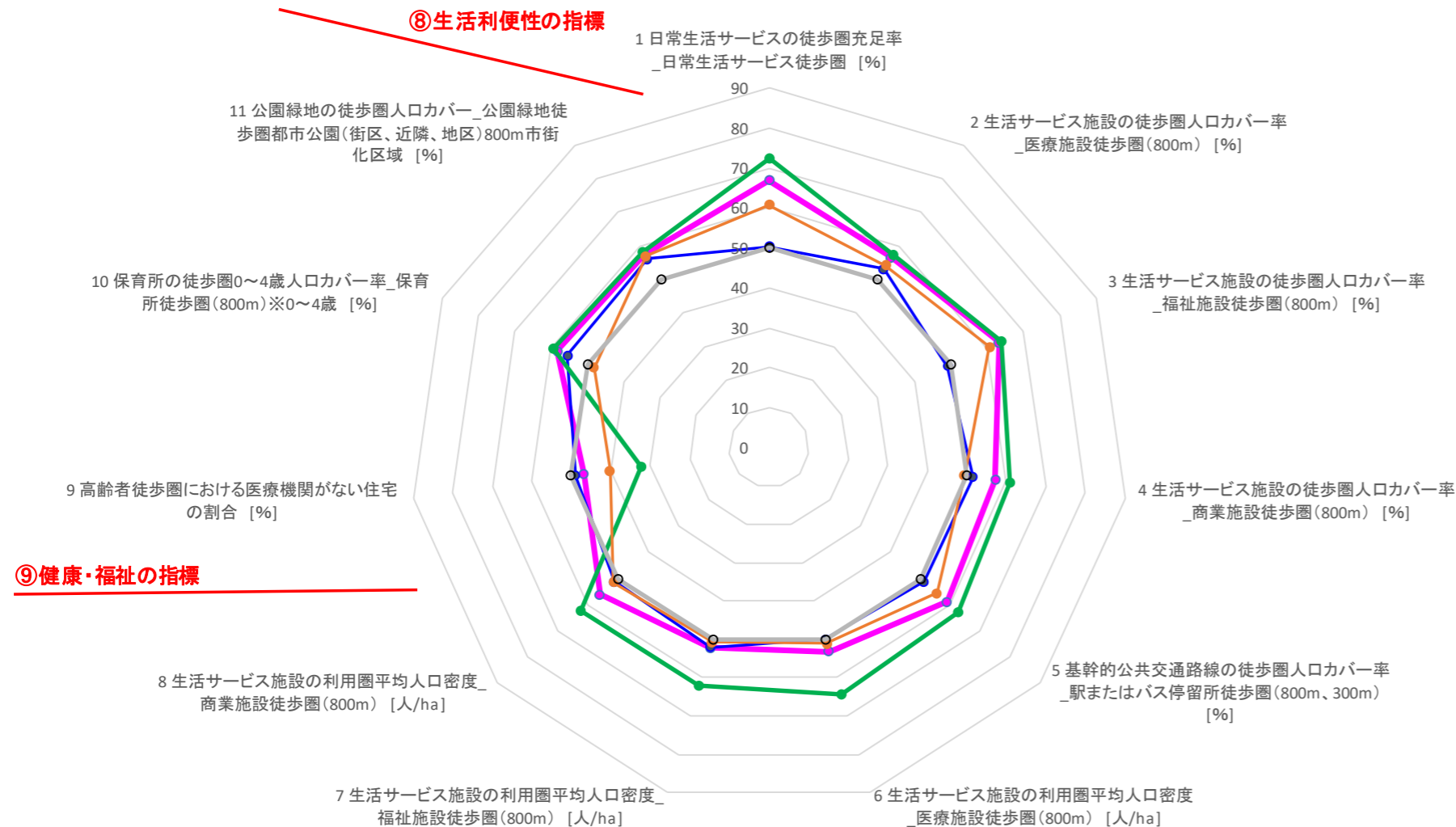
資料：総務省「都道府県別類型団体区分一覧表」

# 人口規模同等4都市比較

| 分野        | 指標項目  | 平均   |      | 宇治市  |        |        | 和泉市  |        |        | 伊丹市  |        |        | 川西市  |        |        |
|-----------|---|------|------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|
|           |   | 全国   | 三大都市 | データ  | 偏差値/全国 | 偏差値/類型 | データ  | 偏差値/全国 | 偏差値/類型 | データ  | 偏差値/全国 | 偏差値/類型 | データ  | 偏差値/全国 | 偏差値/類型 |
| ⑧生活利便性の指標 | 1 日常生活サービスの徒歩圏充足率_日常生活サービス徒歩圏 [%]                   | 24.0 | 38.0 | 73.2 | 80     | 67     | 34.1 | 59     | 50     | 85.5 | 86     | 72     | 58.7 | 72     | 61     |
|           | 2 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率_医療施設徒歩圏(800m) [%]              | 68.0 | 90.0 | 98.1 | 65     | 57     | 93.6 | 63     | 53     | 99.4 | 66     | 57     | 94.9 | 64     | 54     |
|           | 3 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率_福祉施設徒歩圏(800m) [%]              | 51.0 | 59.0 | 97.0 | 70     | 63     | 53.7 | 54     | 49     | 98.9 | 70     | 64     | 88.9 | 67     | 61     |
|           | 4 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率_商業施設徒歩圏(800m) [%]              | 49.0 | 74.0 | 84.8 | 67     | 57     | 72.2 | 62     | 52     | 93.1 | 70     | 61     | 67.1 | 60     | 49     |
|           | 5 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率_駅またはバス停留所徒歩圏(800m、300m) [%]   | 41.0 | 68.0 | 84.2 | 70     | 59     | 68.9 | 64     | 51     | 91.8 | 73     | 63     | 77.4 | 67     | 56     |
|           | 6 生活サービス施設の利用圏平均人口密度_医療施設徒歩圏(800m) [人/ha]           | 18.0 | 48.0 | 51.7 | 69     | 53     | 42.3 | 64     | 50     | 85.4 | 87     | 64     | 45.6 | 66     | 51     |
|           | 7 生活サービス施設の利用圏平均人口密度_福祉施設徒歩圏(800m) [人/ha]           | 19.0 | 53.0 | 51.6 | 67     | 52     | 50.7 | 67     | 52     | 84.6 | 83     | 62     | 46.7 | 65     | 51     |
|           | 8 生活サービス施設の利用圏平均人口密度_商業施設徒歩圏(800m) [人/ha]           | 23.0 | 58.0 | 70.3 | 73     | 56     | 55.2 | 67     | 51     | 90.6 | 83     | 63     | 55.7 | 67     | 51     |
| ⑨健康・福祉の指標 | 9 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合 [%]                        | 58.0 | 39.0 | 34.2 | 38     | 47     | 38.8 | 41     | 49     | 4.0  | 24     | 32     | 20.6 | 32     | 40     |
|           | 10 保育所の徒歩圏0~4歳人口カバー率_保育所徒歩圏(800m)※0~4歳 [%]          | 48.0 | 74.0 | 91.3 | 68     | 58     | 84.2 | 65     | 56     | 94.5 | 69     | 59     | 65.1 | 58     | 48     |
|           | 11 公園緑地の徒歩圏人口カバー_公園緑地徒歩圏都市公園(街区、近隣、地区)800m市街化区域 [%] | 38.7 | 78.9 | 98.6 | 67     | 58     | 94.7 | 66     | 56     | 99.7 | 67     | 58     | 96.6 | 66     | 57     |

## 都市構造の評価 偏差値レーダーによる検証 三大都市圏平均

●宇治市 ●和泉市 ●伊丹市 ●川西市 ●三大都市平均



### 所見

#### ⑧ 生活利便性

- ・宇治市はすべての項目において偏差値50を越えている。
- ・4都市の中では、伊丹市がやや高いものの、宇治市は他2市と比較しても劣る項目はほとんど無い。
- ・6、7の項目については、全国平均とほぼ同じ値となっており、生活サービス施設の利用圏平均人口密度において医療、福祉施設の徒歩圏がやや弱いといえる。

#### ⑨ 健康福祉

- ・9.高齢者徒歩圏における医療機関がある住宅の割合医療施設のない住宅の割合の偏差値は、500m圏域より離れている住宅の割合であるため低いほうが優れているが、宇治市は低いと優れている。
- ・10.保育所の徒歩圏カバー率はかなり高い。

- 1 日常生活サービスの徒歩圏充足率  
宇治市の充足率は73.2%と全国平均24.0%、三大都市38.0%であることから、高い水準となっている。
- 2 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率  
医療施設については、宇治市は98.1%と全国平均68.0%、三大都市90.0%であることから、高い水準となっている。  
福祉施設については、宇治市は97.0%と全国平均51.0%、三大都市59.0%であることから、高い水準となっている。  
商業施設については、宇治市は84.8%と全国平均49.0%、三大都市74.0%であることから、高い水準となっている。
- 3 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率\_駅(800m)またはバス停留所徒歩圏(300m)  
基幹的公共交通路線(日あたり30本以上運行する鉄道及びバス路線)の徒歩圏は、宇治市の地勢上、JR奈良線、近鉄京都線、京阪宇治線、京都市地下鉄が走っており、それらの駅間を結ぶバス路線も整備されていることから、宇治市は84.2%と全国平均41.0%、三大都市68.0%であることから、高い水準となっている。
- 4 生活サービス施設の利用圏平均人口密度 医療施設・福祉施設・商業施設徒歩圏(800m)  
医療施設については、宇治市は51.7人/haと全国平均18.0人/ha、三大都市48.0人/haであることから、高い水準となっている。  
福祉施設については、宇治市は51.6人/haと全国平均19.0人/ha、三大都市53.0人/haであることから、高い水準となっている。  
商業施設については、宇治市は70.3人/haと全国平均23.0人/ha、三大都市58.0人/haであることから、高い水準となっている。
- 5 高齢者徒歩圏における医療機関のない住宅の割合  
高齢者徒歩圏における医療機関のない住宅の割合は、34.2%と全国平均58.0%、三大都市39.0%であることから、全国平均、三大都市圏平均より優れている。
- 6 保育所の徒歩圏0~4歳人口カバー率\_保育所徒歩圏(800m) ※0~4歳  
保育所の徒歩圏人口カバー率は91.3%と全国平均48.0%、三大都市圏74.0%であることから、高い水準となっている。
- 7 公園緑地の徒歩圏人口カバー\_公園緑地徒歩圏都市公園(街区、近隣、地区)800m市街化区域  
公園緑地の徒歩圏カバー率については、宇治市は98.6%と全国平均38.7%、三大都市78.9%であることから、高い水準となっている。

### (3) 都市構造の結果

本市の都市構造評価の結果と都市規模別平均値について、以下のとおりとなる。

| 分野        | 指標項目  | 平均   |      | 宇治市  |      |      |
|-----------|---|------|------|------|------|------|
|           |   | 全国   | 三大都市 | 2020 | 2040 | 2040 |
|           |   |      |      |      | ビジョン | 社人研  |
| ⑧生活利便性の指標 | 1 日常生活サービスの徒歩圏充足率<br>_日常生活サービス徒歩圏 [%]               | 24.0 | 38.0 | 92.8 | 93.0 | 92.9 |
|           | 2 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率<br>_医療施設徒歩圏(800m) [%]          | 68.0 | 90.0 | 99.1 | 99.4 | 99.4 |
|           | 3 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率<br>_福祉施設徒歩圏(800m) [%]          | 51.0 | 59.0 | 95.6 | 95.5 | 95.5 |
|           | 4 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率<br>_商業施設徒歩圏(800m) [%]          | 49.0 | 74.0 | 95.4 | 95.7 | 95.7 |
|           | 5 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率_駅またはバス停留所徒歩圏(800m、300m) [%]   | 41.0 | 68.0 | 88.4 | 88.8 | 88.8 |
|           | 6 生活サービス施設の利用圏平均人口密度<br>_医療施設徒歩圏(800m) [人/ha]       | 18.0 | 48.0 | 57.9 | 53.2 | 44.2 |
|           | 7 生活サービス施設の利用圏平均人口密度_福祉施設徒歩圏(800m) [人/ha]           | 19.0 | 53.0 | 57.6 | 52.6 | 43.7 |
|           | 8 生活サービス施設の利用圏平均人口密度_商業施設徒歩圏(800m) [人/ha]           | 23.0 | 58.0 | 70.0 | 64.2 | 53.4 |
| ⑨健康・福祉の指標 | 9 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合 [%]                        | 58.0 | 39.0 | 13.5 | 13.4 | 13.5 |
|           | 10 保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率_保育所徒歩圏(800m)※0～4歳 [%]          | 48.0 | 74.0 | 89.2 | 88.7 | 88.6 |
|           | 11 公園緑地の徒歩圏人口カバー_公園緑地徒歩圏都市公園(街区、近隣、地区)800m市街化区域 [%] | 38.7 | 78.9 | 98.2 | 98.5 | 98.4 |

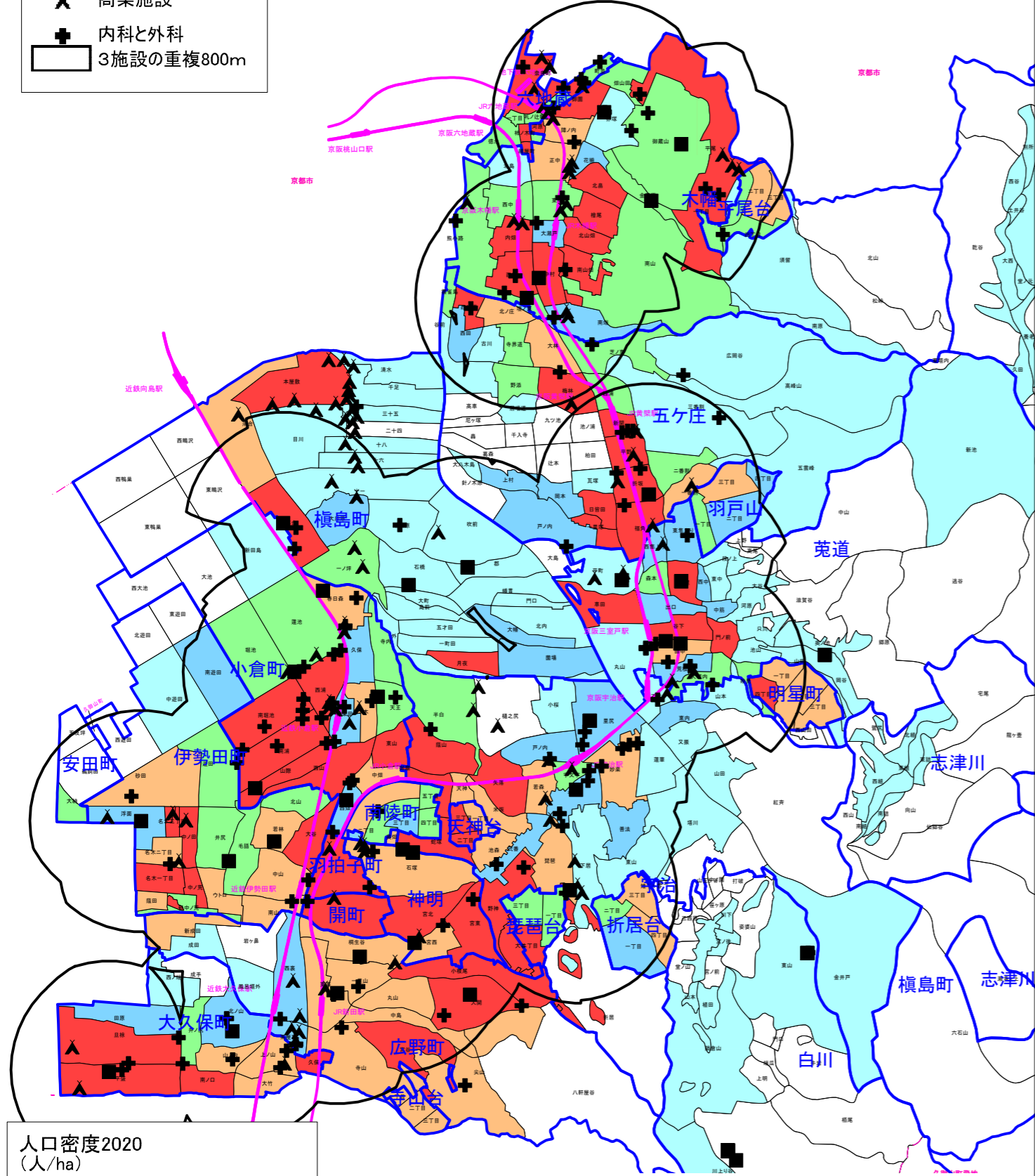
- 日常生活サービスの徒歩圏充足率  
2040年予測は、2020年からは微減しているものの、充足率はほとんど変化がない。
- 生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率  
2040年予測は、2020年からはいずれの生活サービス施設においても、カバー率はほとんど変化がない。
- 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率\_駅(800m)またはバス停留所徒歩圏(300m)  
2040年予測は、2020年からは微増しているものの、カバー率はほとんど変化がない。
- 生活サービス施設の利用圏平均人口密度 医療施設・福祉施設・商業施設徒歩圏(800m)  
2040年予測は、2020年からは5～6%程度減少しており、商業施設についての減少率がやや小さい。
- 高齢者徒歩圏(500m)における医療機関のない住宅の割合  
2040年予測は、2020年からほとんど変化がない。
- 保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率\_保育所徒歩圏(800m)※0～4歳  
2040年予測は、2020年からは微減しているものの、充足率はほとんど変化がない。
- 公園緑地の徒歩圏人口カバー\_公園緑地徒歩圏都市公園(街区、近隣、地区)800m市街化区域  
2040年予測は、2020年からは微増しているものの、割合はほとんど変化がない。



# 日常生活サービスの徒歩圏(2020年)

- 高齢者福祉施設
- ▲ 商業施設
- ⊕ 内科と外科
- 3施設の重複800m

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 国土数値情報＞医療機関データ（平成22年）  
 商業施設：現在の地図よりプロット



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

[日常生活サービス徒歩圏充足率<sup>※1</sup>の算出]  
 日常生活サービス徒歩圏内人口 (170,372人) ÷ 総人口 (183,546人) = 92.8%

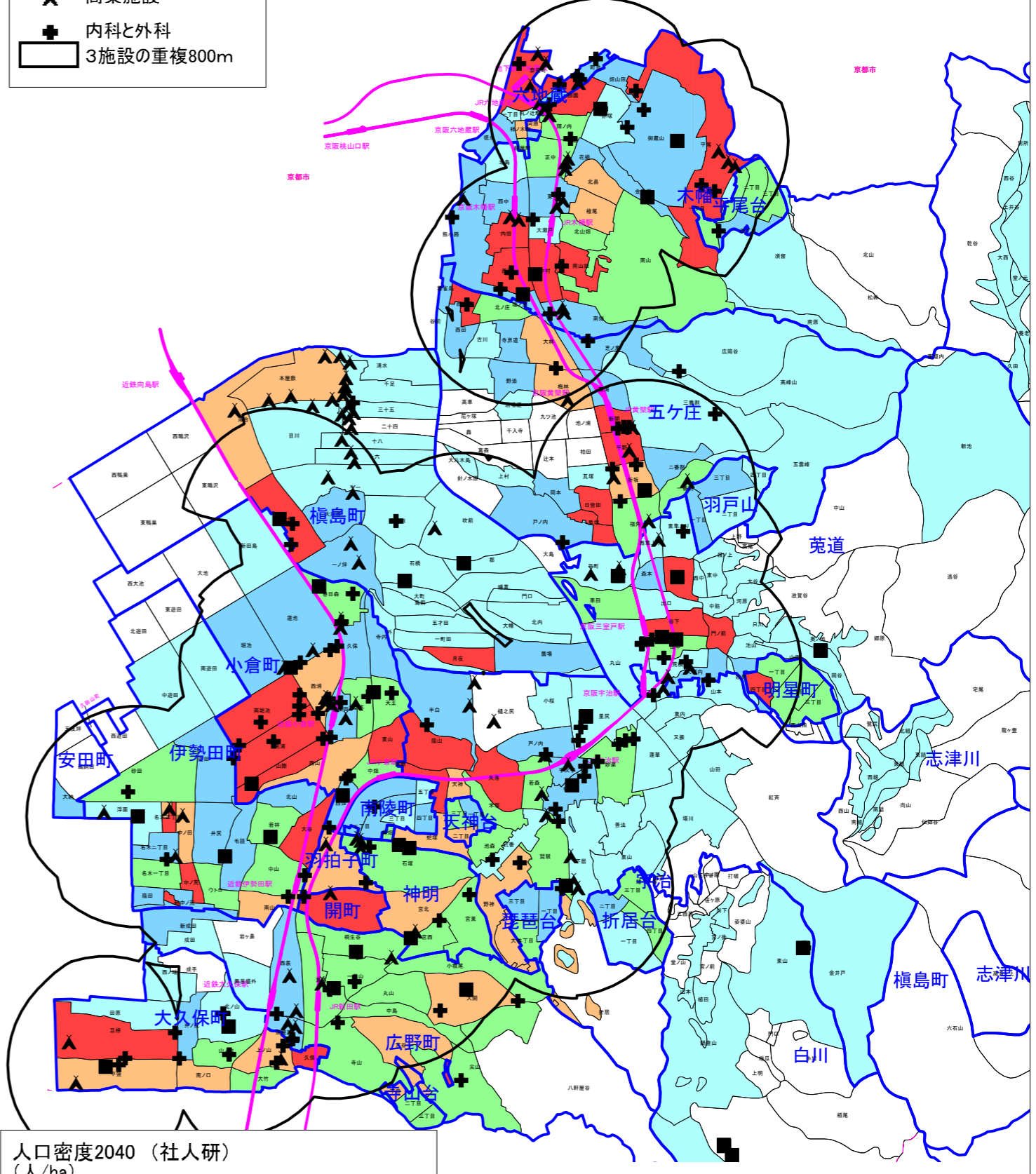
※1  
 医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 日常生活サービスの徒歩圏(2040年)

- 高齢者福祉施設
- ▲ 商業施設
- ⊕ 内科と外科
- 3施設の重複800m

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 国土数値情報＞医療機関データ（平成22年）  
 商業施設：現在の地図よりプロット



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

[日常生活サービス徒歩圏充足率<sup>※1</sup>の算出]  
 日常生活サービス徒歩圏内人口 (129,667人) ÷ 総人口 (139,554人) = 92.9%

※1  
 医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率

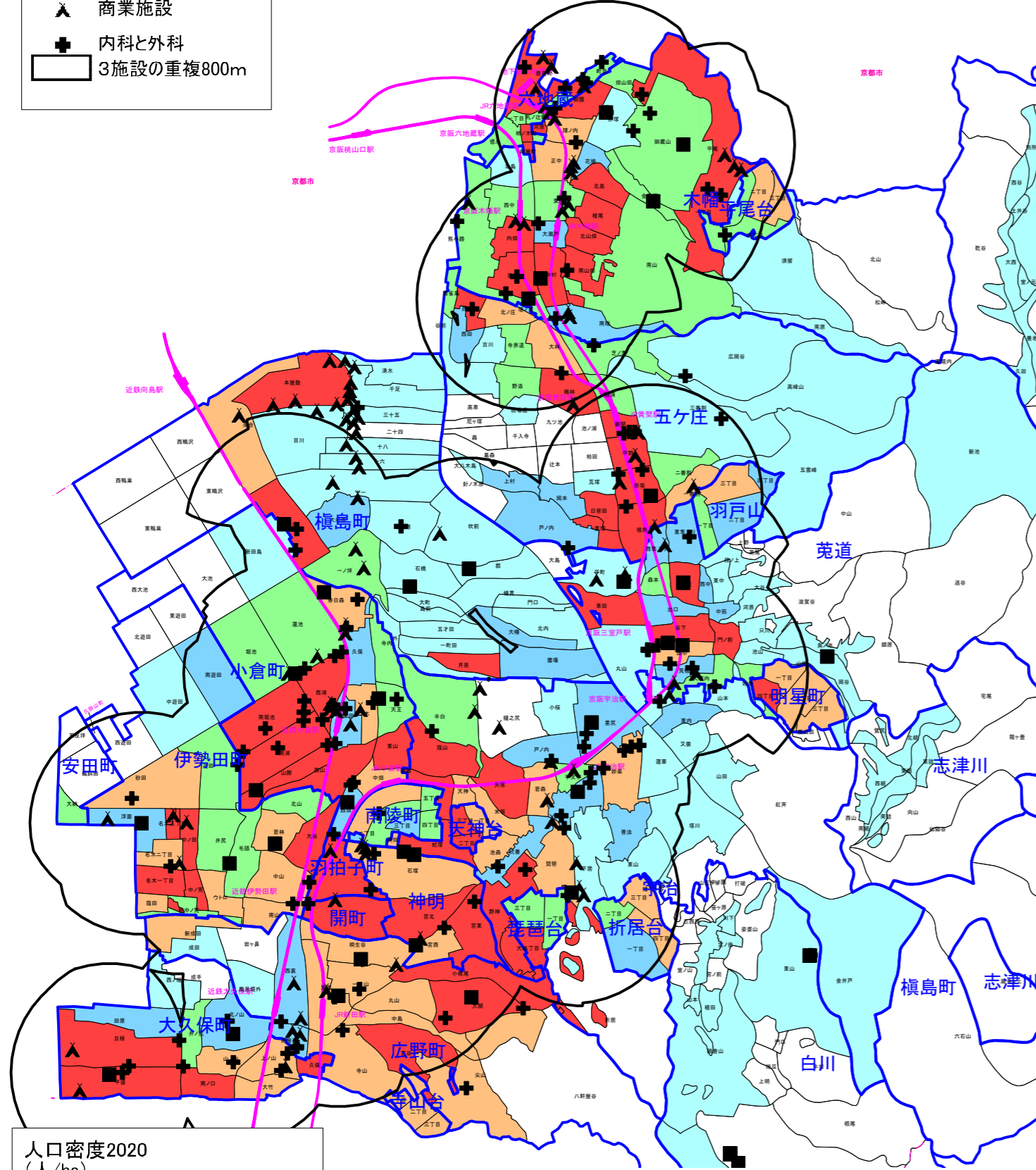
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 日常生活サービスの徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 国土数値情報＞医療機関データ（平成22年）  
 商業施設：現在の地図よりプロット

- 高齢者福祉施設
- ▲ 商業施設
- ⊕ 内科と外科
- 3施設の重複800m



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

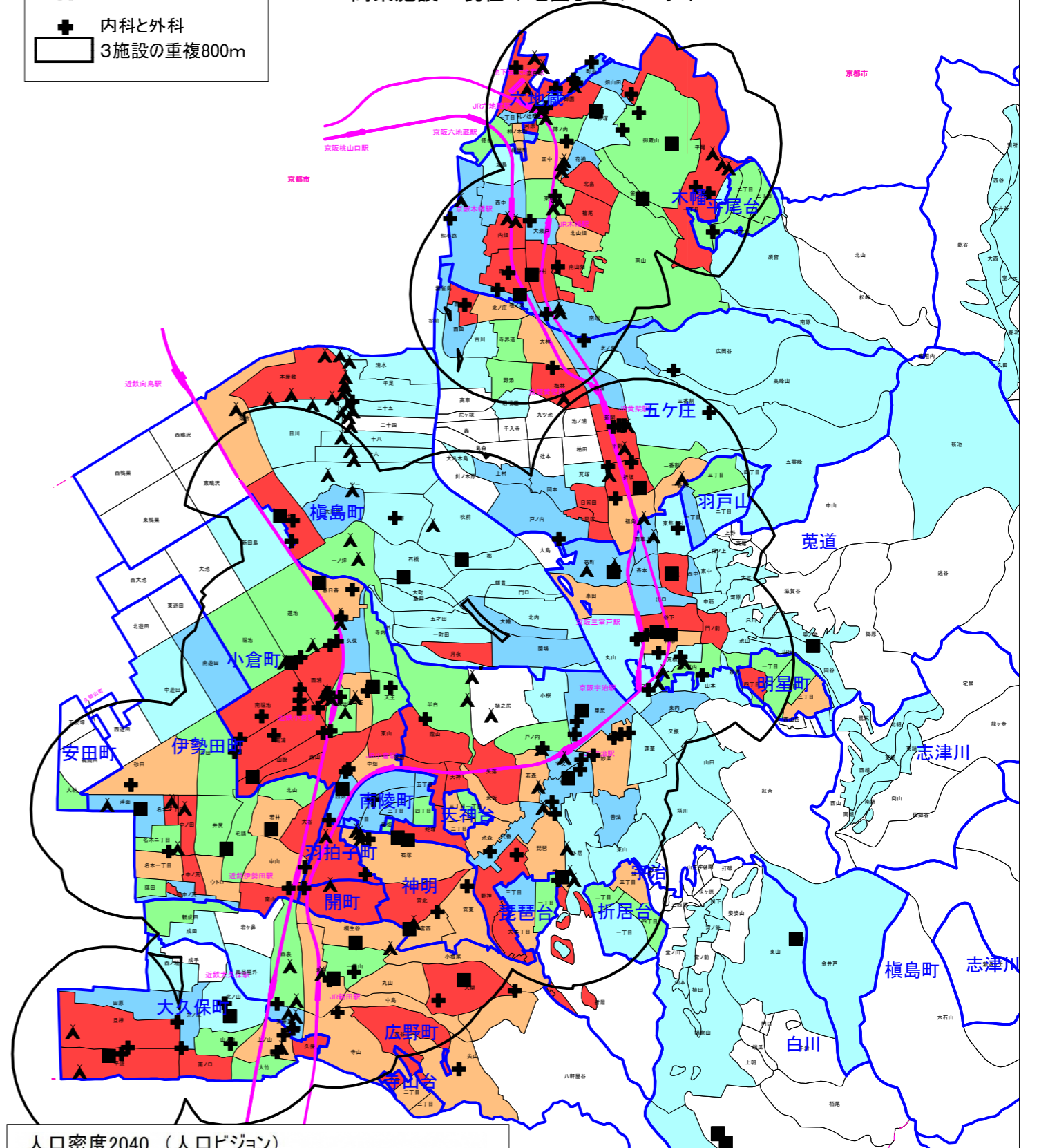
〔日常生活サービス徒歩圏充足率<sup>※1</sup>の算出〕  
 日常生活サービス徒歩圏内人口 (170,372人) ÷ 総人口 (183,546人) = 92.8%

※1  
 医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹の公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 日常生活サービスの徒歩圏(2040年人口ビジョン)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 国土数値情報＞医療機関データ（平成22年）  
 商業施設：現在の地図よりプロット

- 高齢者福祉施設
- ▲ 商業施設
- ⊕ 内科と外科
- 3施設の重複800m



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

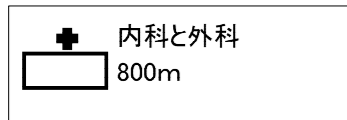
|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

〔日常生活サービス徒歩圏充足率<sup>※1</sup>の算出〕  
 日常生活サービス徒歩圏内人口 (156,093人) ÷ 総人口 (167,893人) = 93.0%

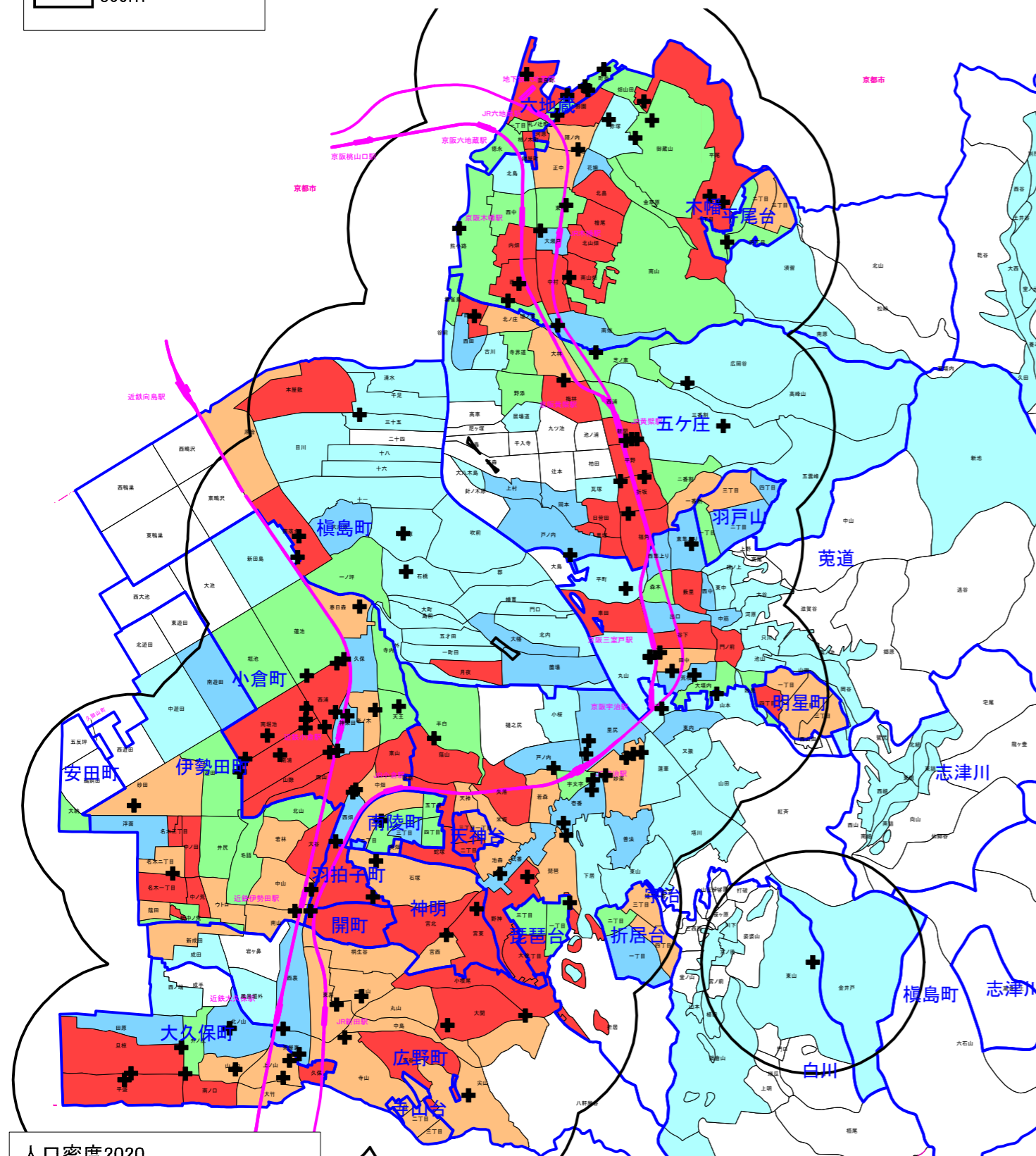
※1  
 医療施設、福祉施設、商業施設の徒歩圏800mすべてが重複する区域と基幹の公共交通路線（日当たり30本以上の鉄道路線及びバス路線）の徒歩圏鉄道駅からは800m、バス停からは300m）の区域が重複する区域に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2020年)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）より内科、外科を抽出



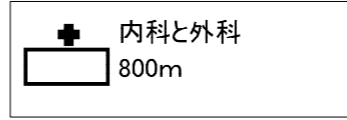
人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

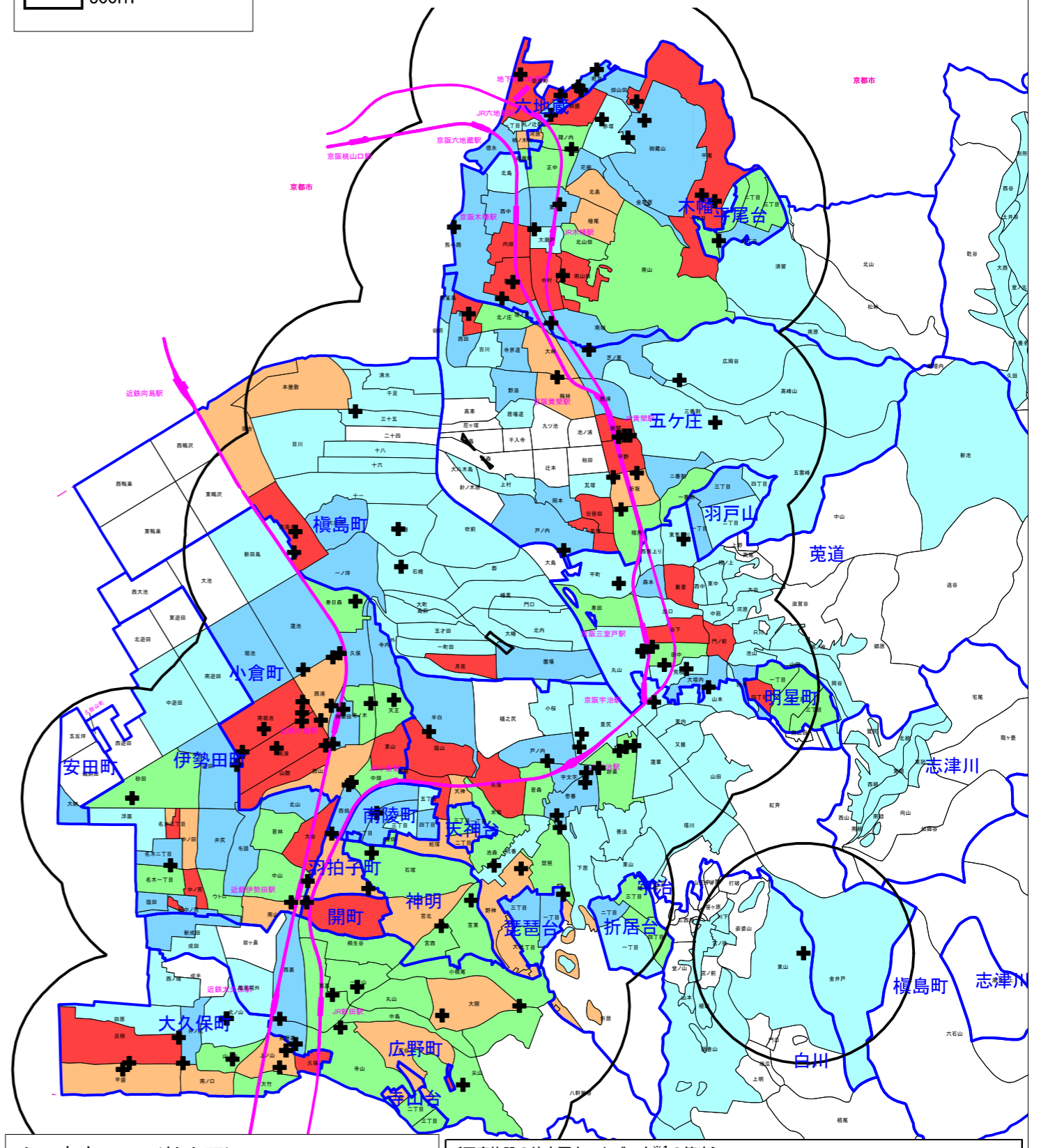
〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (181,819人) ÷ 総人口 (183,546人) = 99.1%  
 〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (181,819人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (3,139ha) = 57.9人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2040年)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）より内科、外科を抽出



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (138,673人) ÷ 総人口 (139,554人) = 99.4%  
 〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (138,673人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (3,139ha) = 44.2人/ha

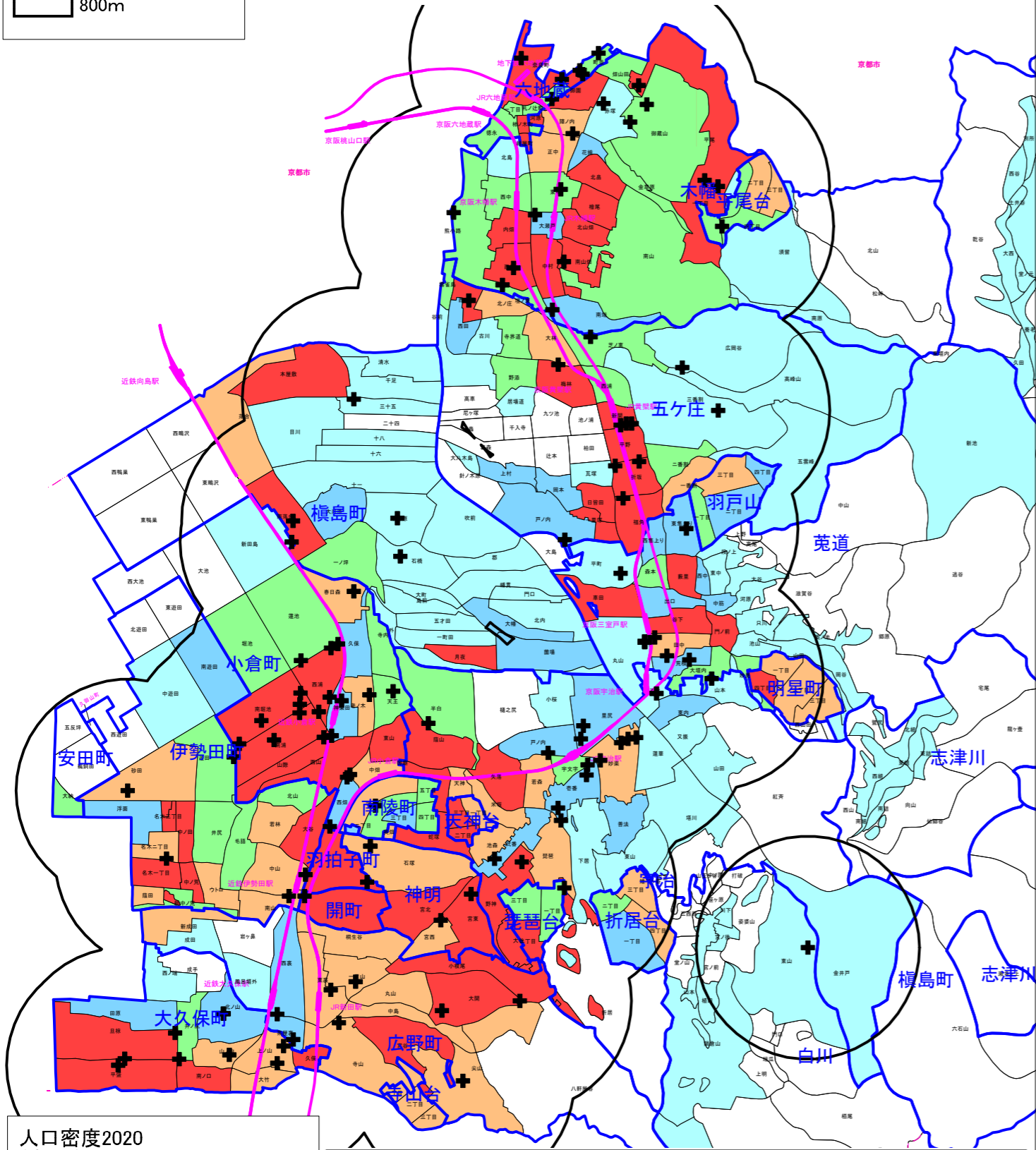
※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2020年)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）  
より内科、外科を抽出



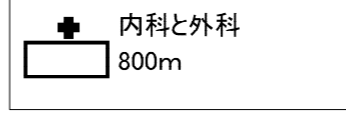
人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

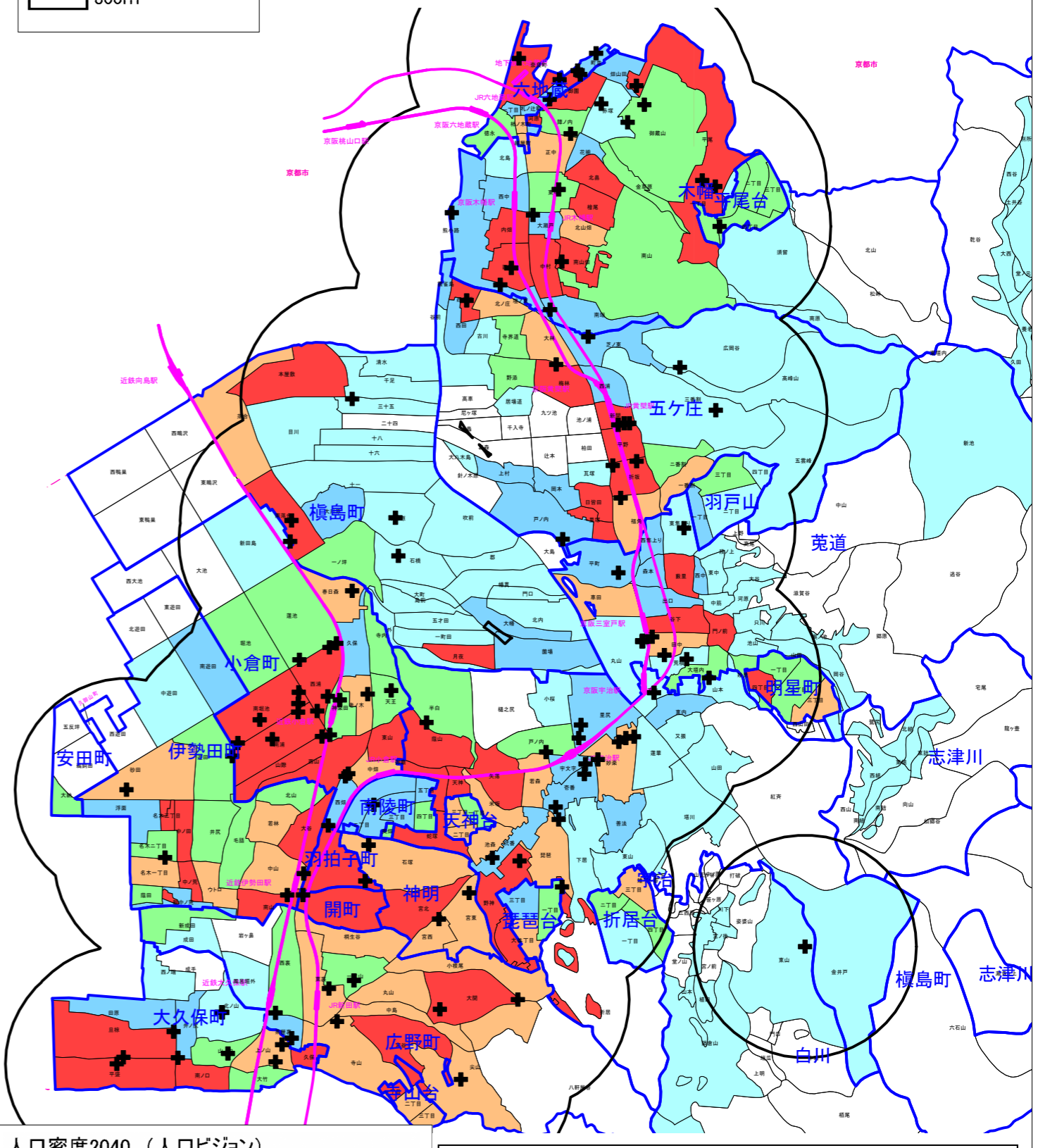
〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
医療施設の徒歩圏内人口 (181,819人) ÷ 総人口 (183,546人) = 99.1%  
〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
医療施設の徒歩圏内人口 (181,819人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (3,139 ha) = 57.9人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2040年人口ビジョン)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）  
より内科、外科を抽出



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
医療施設の徒歩圏内人口 (166,875人) ÷ 総人口 (167,893人) = 99.4%  
〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
医療施設の徒歩圏内人口 (166,875人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (3,139ha) = 53.2人/ha

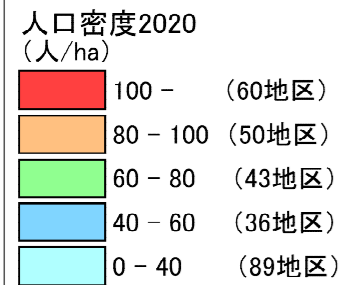
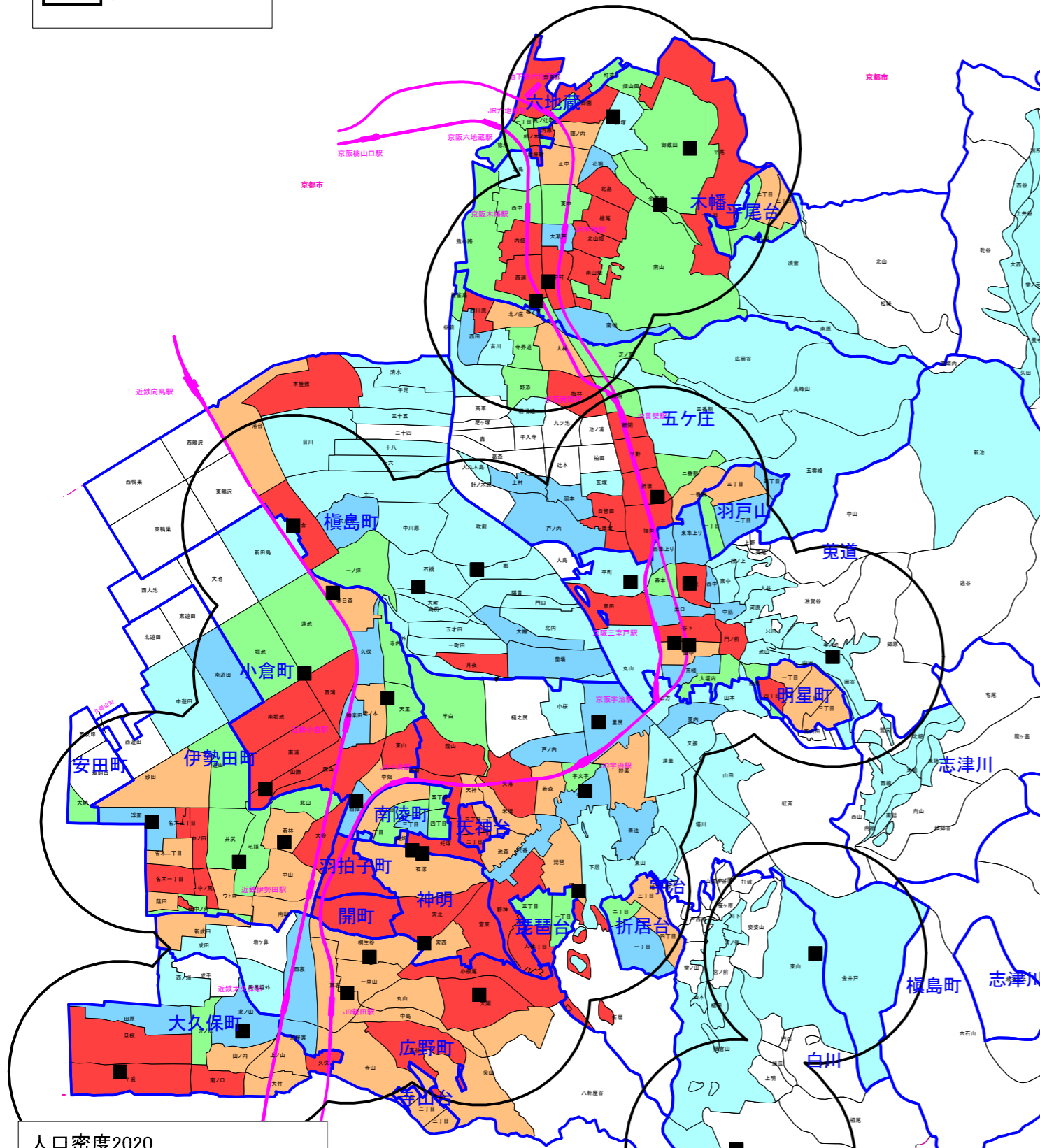
※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度





# 高齢者福祉施設の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
公共施設小分類コード（19001老人福祉施設）

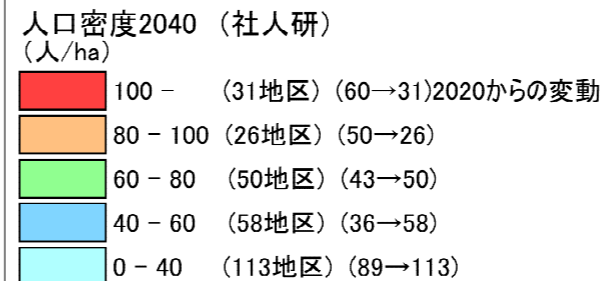
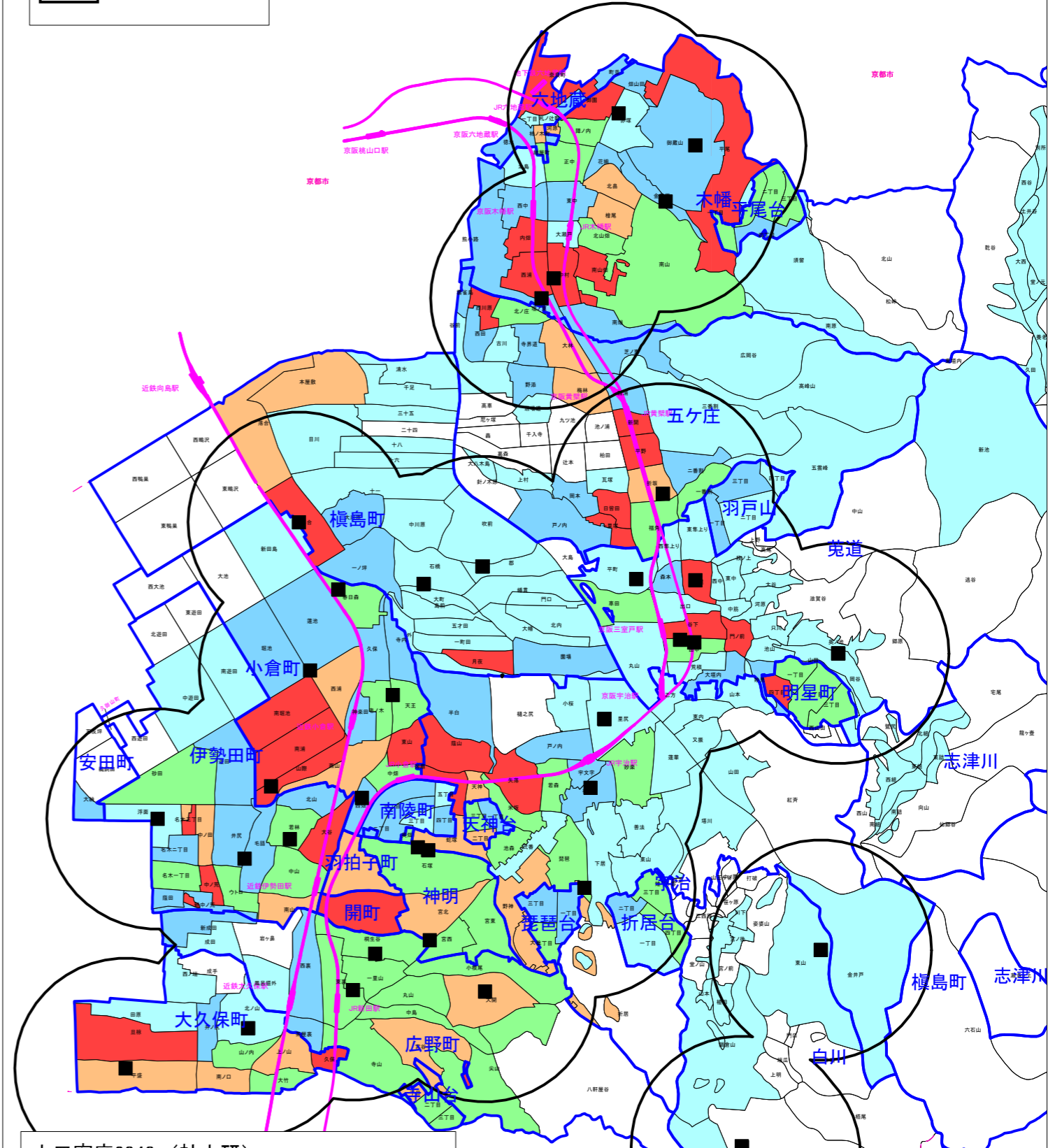


〔福祉施設の徒歩圏人口カバー率<sup>\*1</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (175,472人) ÷ 総人口 (183,546人) = 95.6%  
〔福祉施設の徒歩圏人口密度<sup>\*2</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (175,472人) ÷ 福祉施設徒歩圏面積 (3,049ha) = 57.6人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 高齢者福祉施設の徒歩圏(2040年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
公共施設小分類コード（19001老人福祉施設）



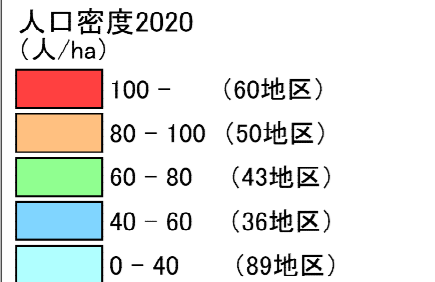
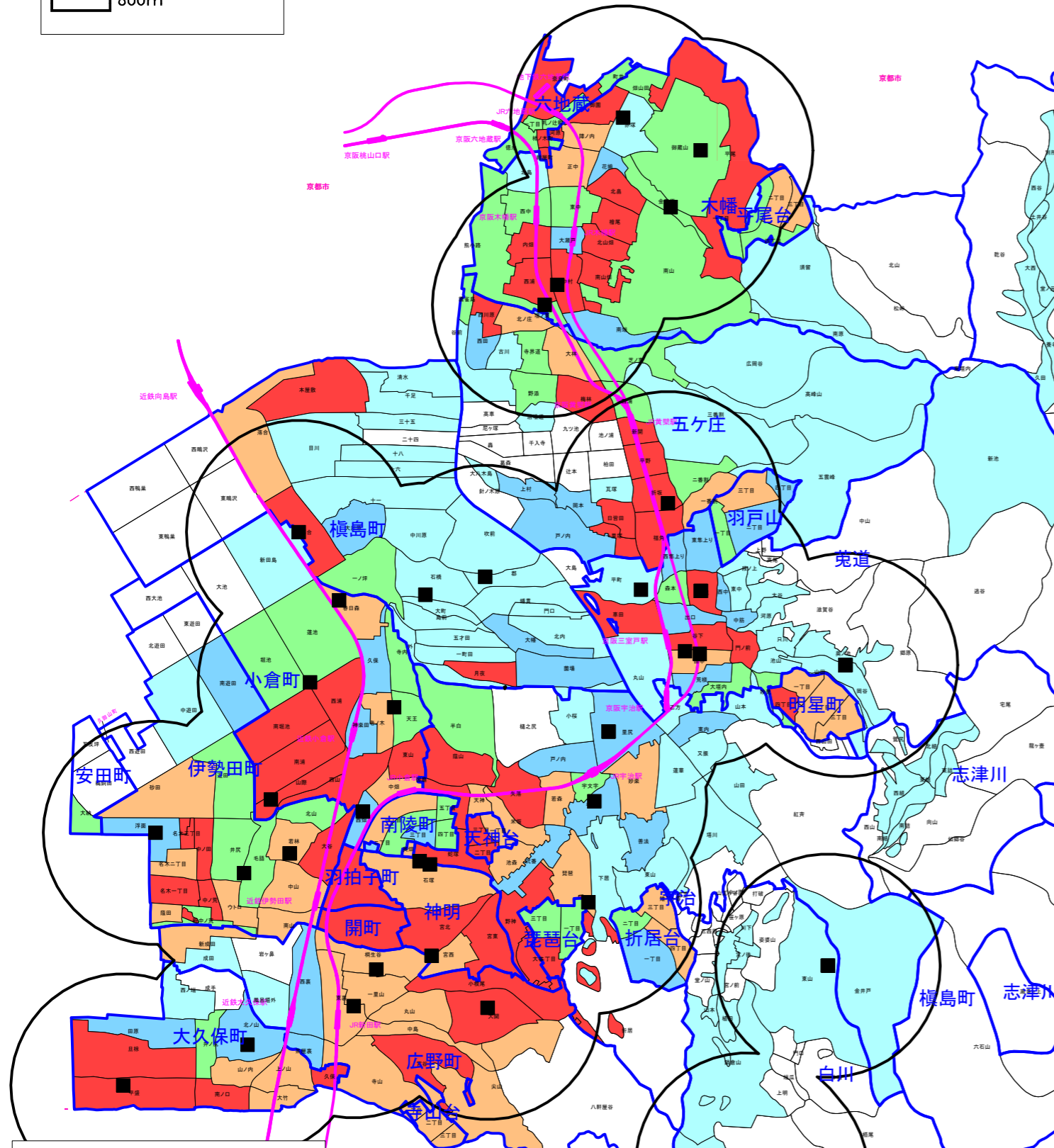
〔福祉施設の徒歩圏人口カバー率<sup>\*1</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (133,205人) ÷ 総人口 (139,554人) = 95.5%  
〔福祉施設の徒歩圏人口密度<sup>\*2</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (133,205人) ÷ 福祉施設徒歩圏面積 (3,049ha) = 43.7人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 高齢者福祉施設の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
公共施設小分類コード（19001老人福祉施設）

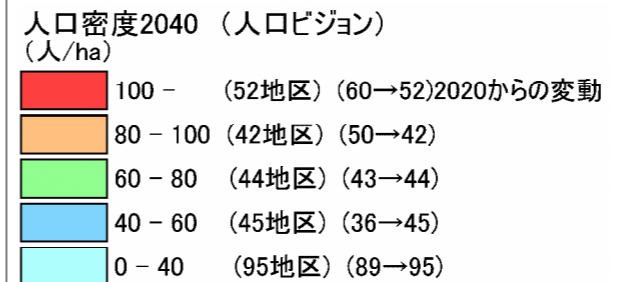
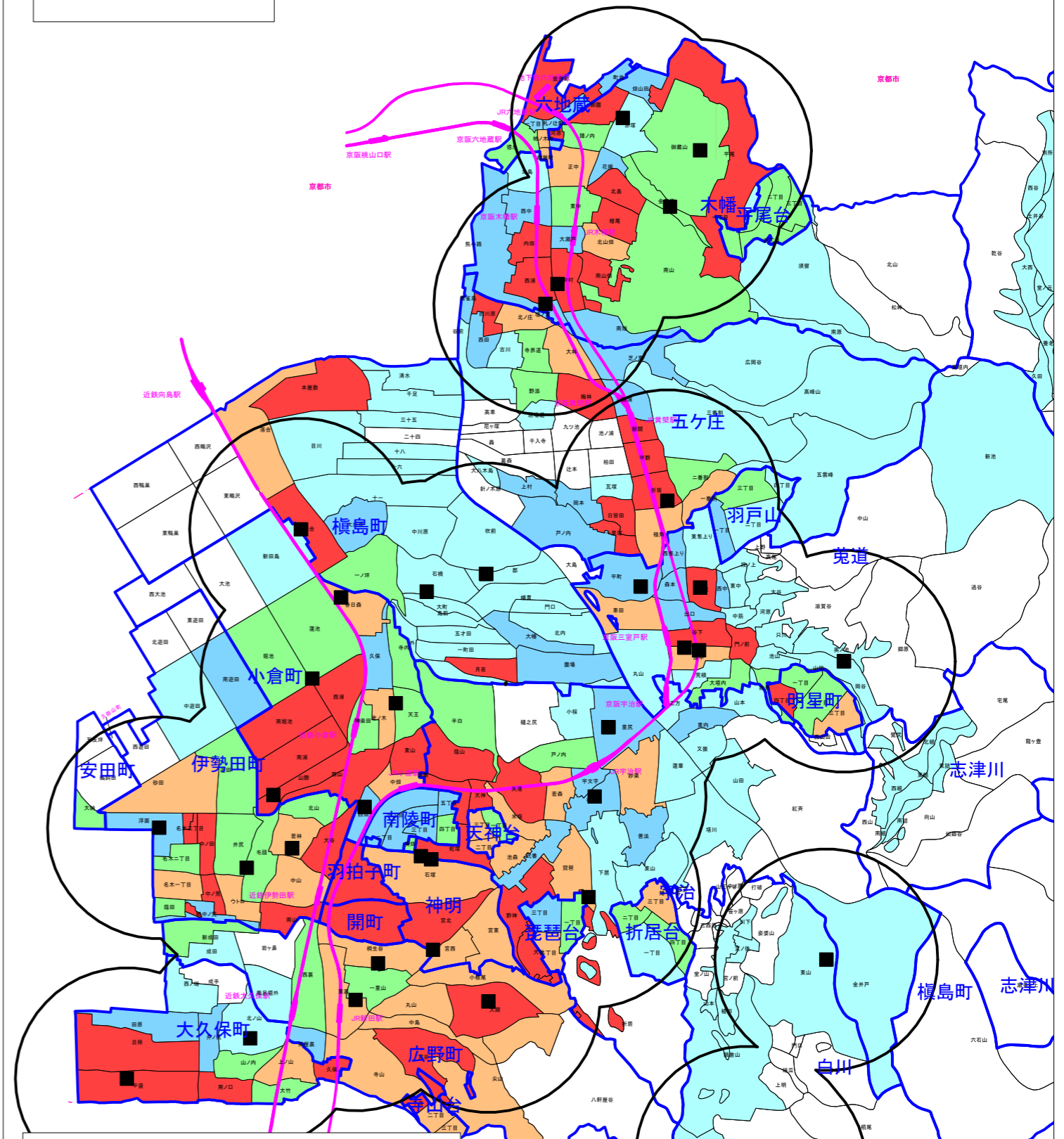
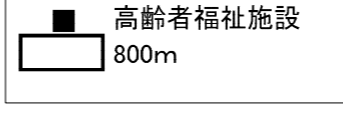


〔福祉施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (175,472人) ÷ 総人口 (183,546人) = 95.6%  
〔福祉施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (175,472人) ÷ 福祉施設徒歩圏面積 (3,049 ha) = 57.6人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 高齢者福祉施設の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
公共施設小分類コード（19001老人福祉施設）



〔福祉施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (160,397人) ÷ 総人口 (167,893人) = 95.5%  
〔福祉施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
福祉施設の徒歩圏内人口 (160,397人) ÷ 福祉施設徒歩圏面積 (3,049ha) = 52.6人/ha

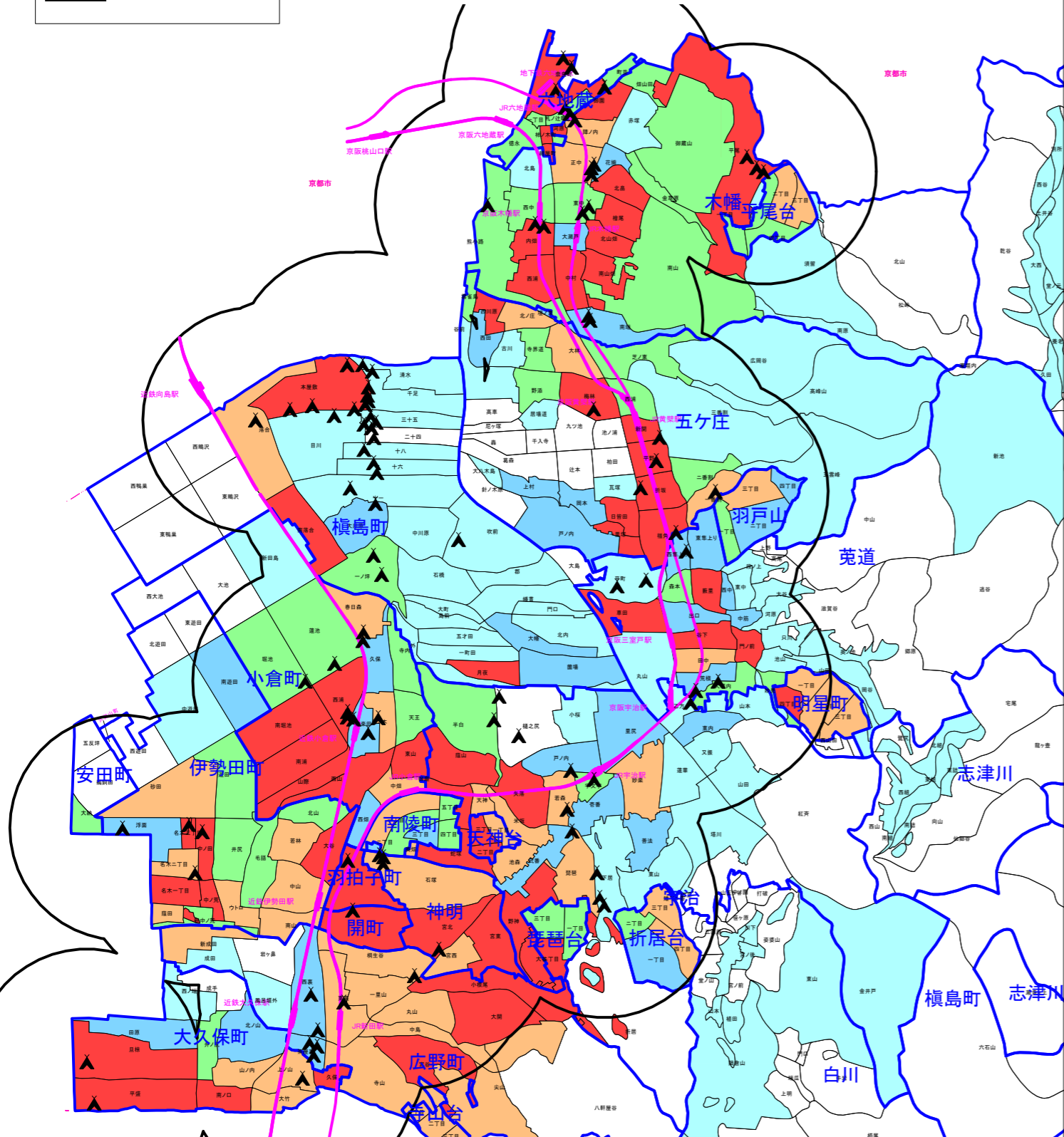
※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2020年)

▲ 商業施設  
800m

商業施設：大規模店舗、スーパー、コンビニ、飲食、ドラッグストアを現在の地図よりプロット



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

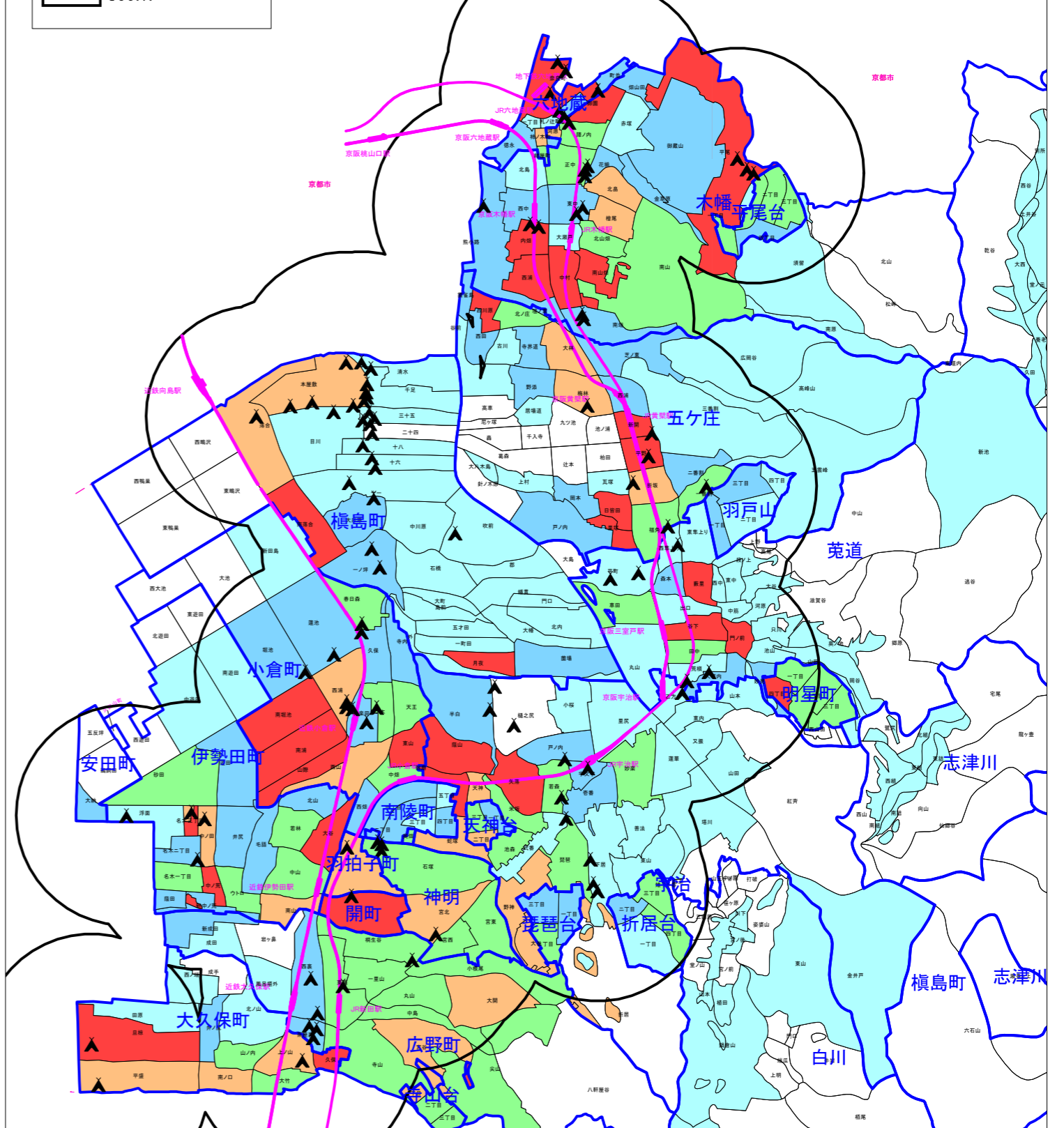
[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (175,036人) ÷ 総人口 (183,546人) = 95.4%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (175,036人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 70.0人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度

# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2040年)

▲ 商業施設  
800m

商業施設：大規模店舗、スーパー、コンビニ、飲食、ドラッグストアを現在の地図よりプロット



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

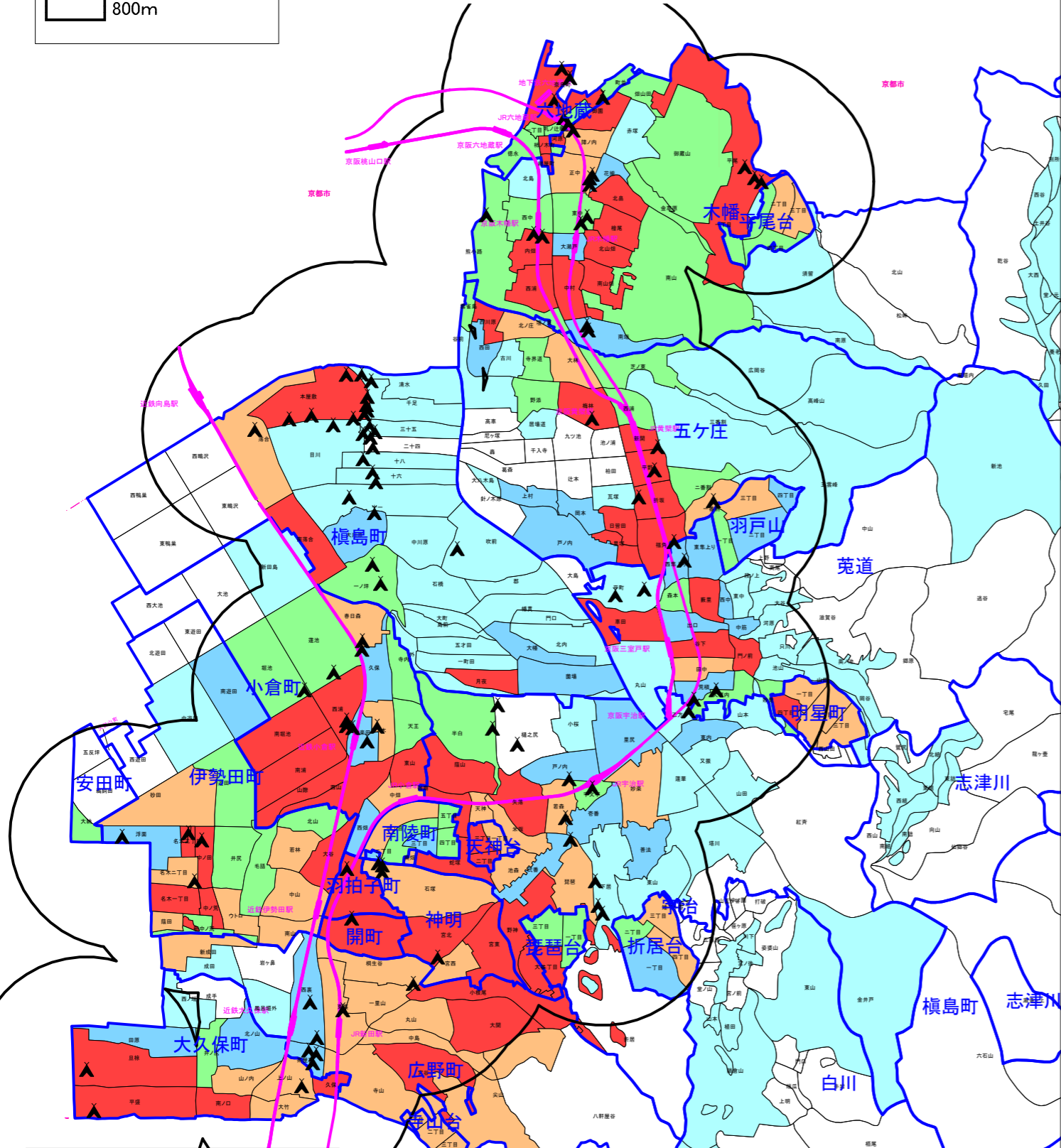
[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (133,502人) ÷ 総人口 (139,554人) = 95.7%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (133,502人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 53.4人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度



# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2020年)

商業施設：大規模店舗、スーパー、コンビニ、飲食、ドラッグストア  
を現在の地図よりプロット



人口密度2020 (人/ha)

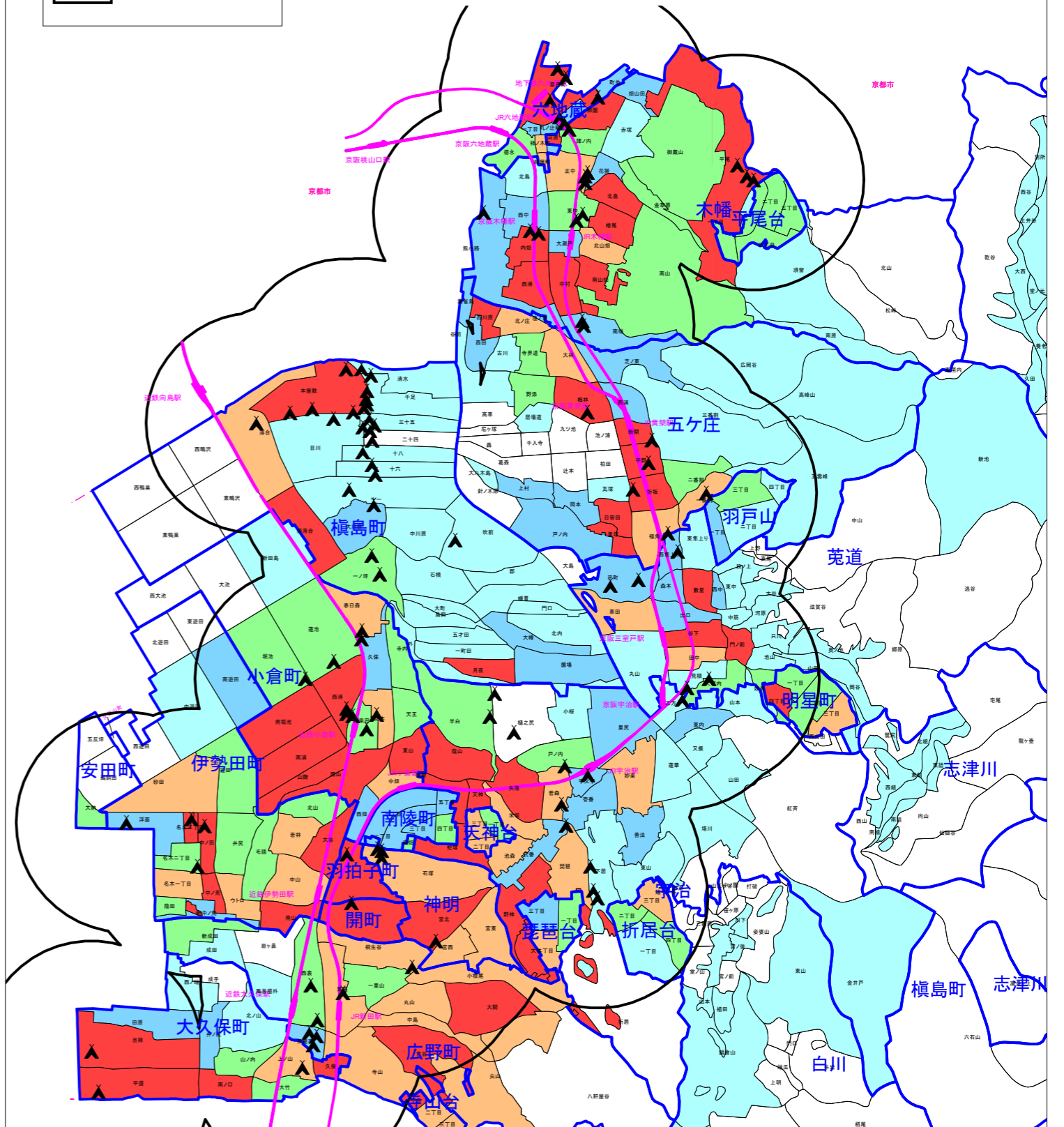
|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (175,036人) ÷ 総人口 (183,546人) = 95.4%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (175,036人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 70.0人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度

# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

商業施設：大規模店舗、スーパー、コンビニ、飲食、ドラッグストア  
を現在の地図よりプロット



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (160,619人) ÷ 総人口 (167,893人) = 95.7%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (160,619人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 64.2人/ha

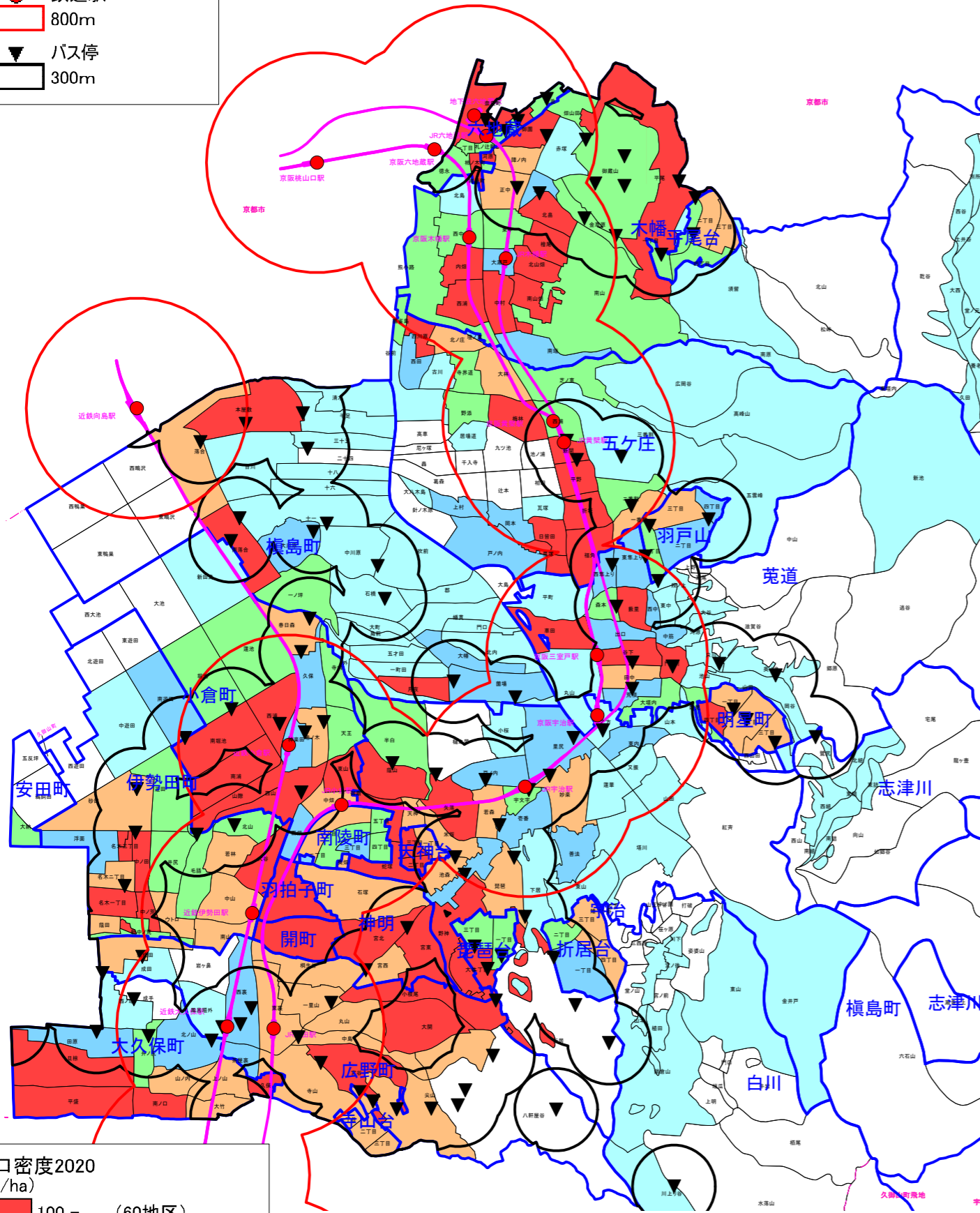
※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度





# 基幹的公共交通の徒歩圏(2020年)

出典：鉄道駅：現在の地図よりプロット  
バス停：国土数値情報>バス停留所データ（平成22年度）



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

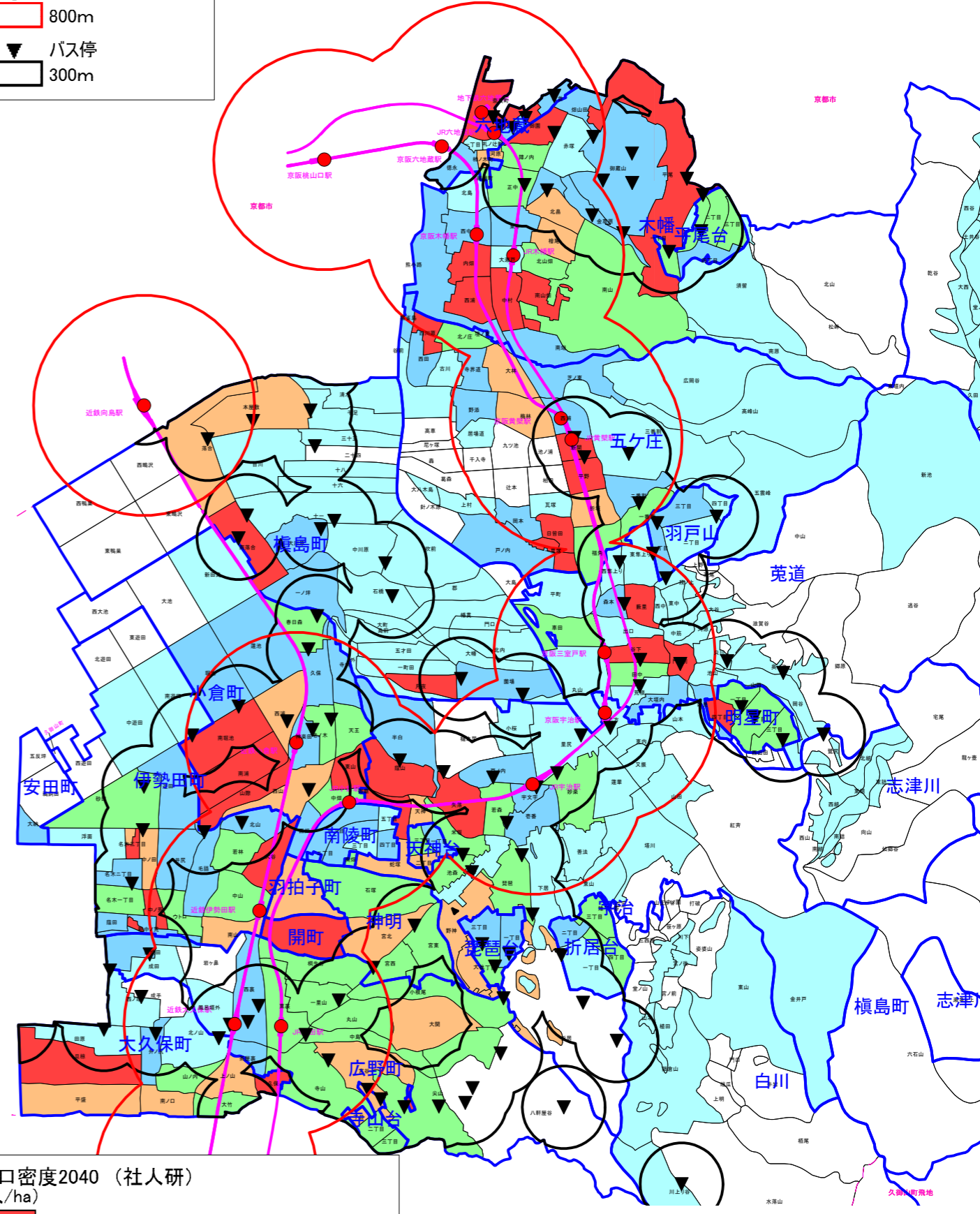
[基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
基幹的公共交通徒歩圏内人口 (162,198人) ÷ 総人口 (183,546人) = 88.4%

※1  
基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の路線）の鉄道駅から800m、バス停の徒歩圏300mに居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 基幹的公共交通の徒歩圏(2040年)

出典：鉄道駅：現在の地図よりプロット  
バス停：国土数値情報>バス停留所データ（平成22年度）



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

[基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
基幹的公共交通徒歩圏内人口 (123,916人) ÷ 総人口 (139,554人) = 88.8%

※1  
基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の路線）の鉄道駅から800m、バス停の徒歩圏300mに居住する人口の総人口に占める比率

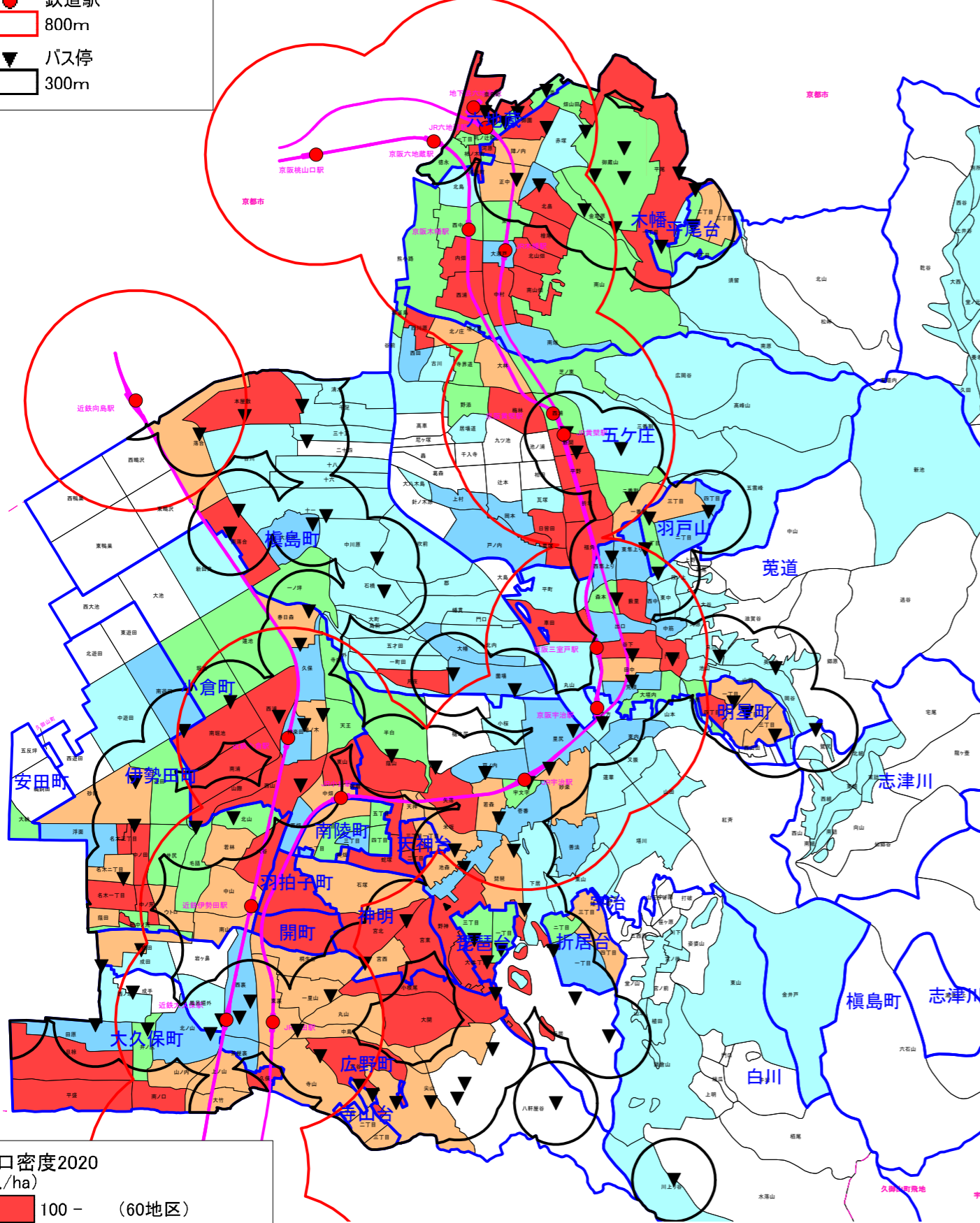
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 基幹的公共交通の徒歩圏(2020年)

出典：鉄道駅：現在の地図よりプロット  
バス停：国土数値情報>バス停留所データ（平成22年度）

- 鉄道駅
- 800m
- ▼ バス停
- 300m



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

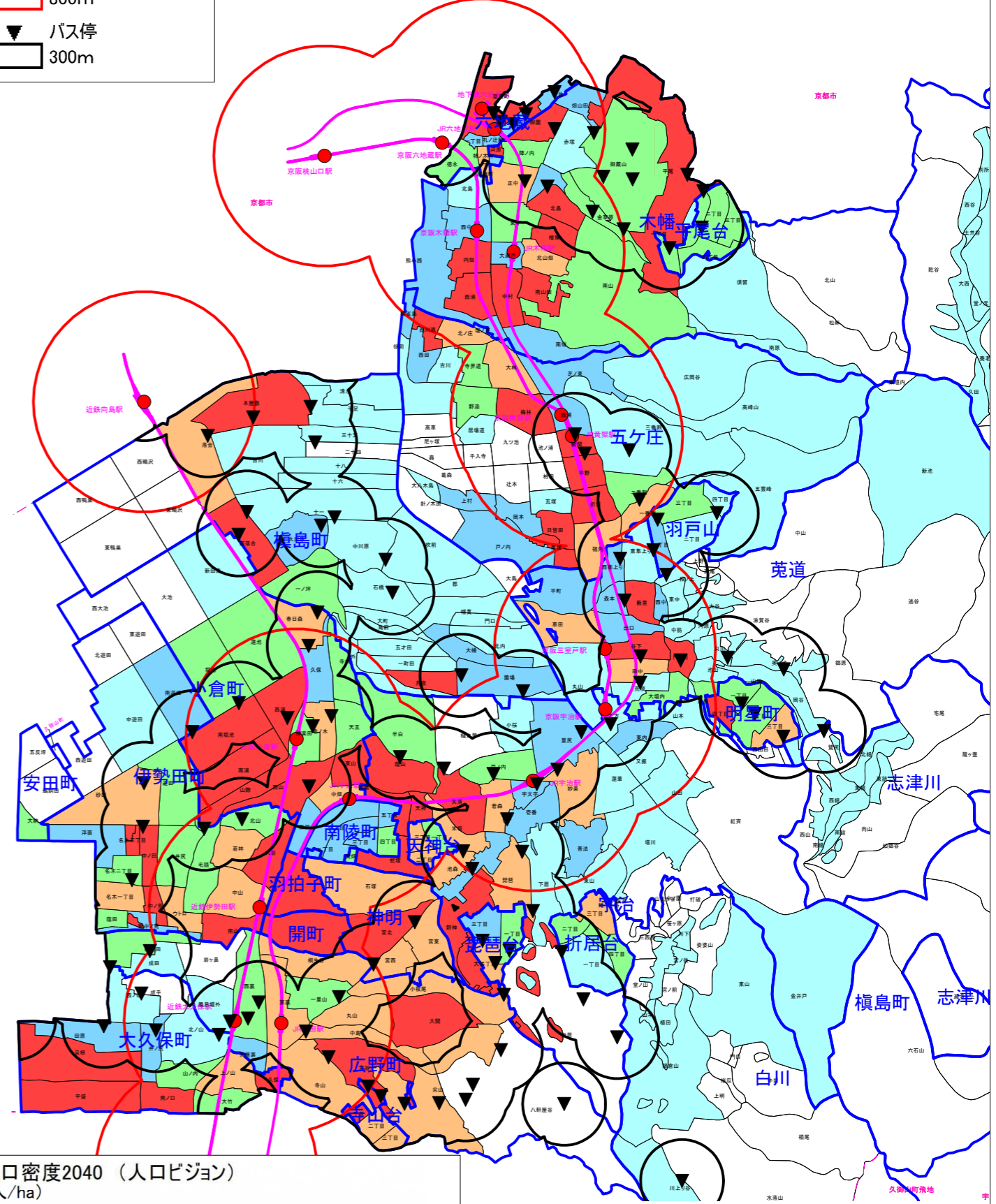
[基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
基幹的公共交通徒歩圏内人口 (162,198人) ÷ 総人口 (183,546人) = 88.4%

※1  
基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の路線）の鉄道駅から800m、バス停の徒歩圏300mに居住する人口の総人口に占める比率  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 基幹的公共交通の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

出典：鉄道駅：現在の地図よりプロット  
バス停：国土数値情報>バス停留所データ（平成22年度）

- 鉄道駅
- 800m
- ▼ バス停
- 300m



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

[基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
基幹的公共交通徒歩圏内人口 (149,119人) ÷ 総人口 (167,893人) = 88.8%

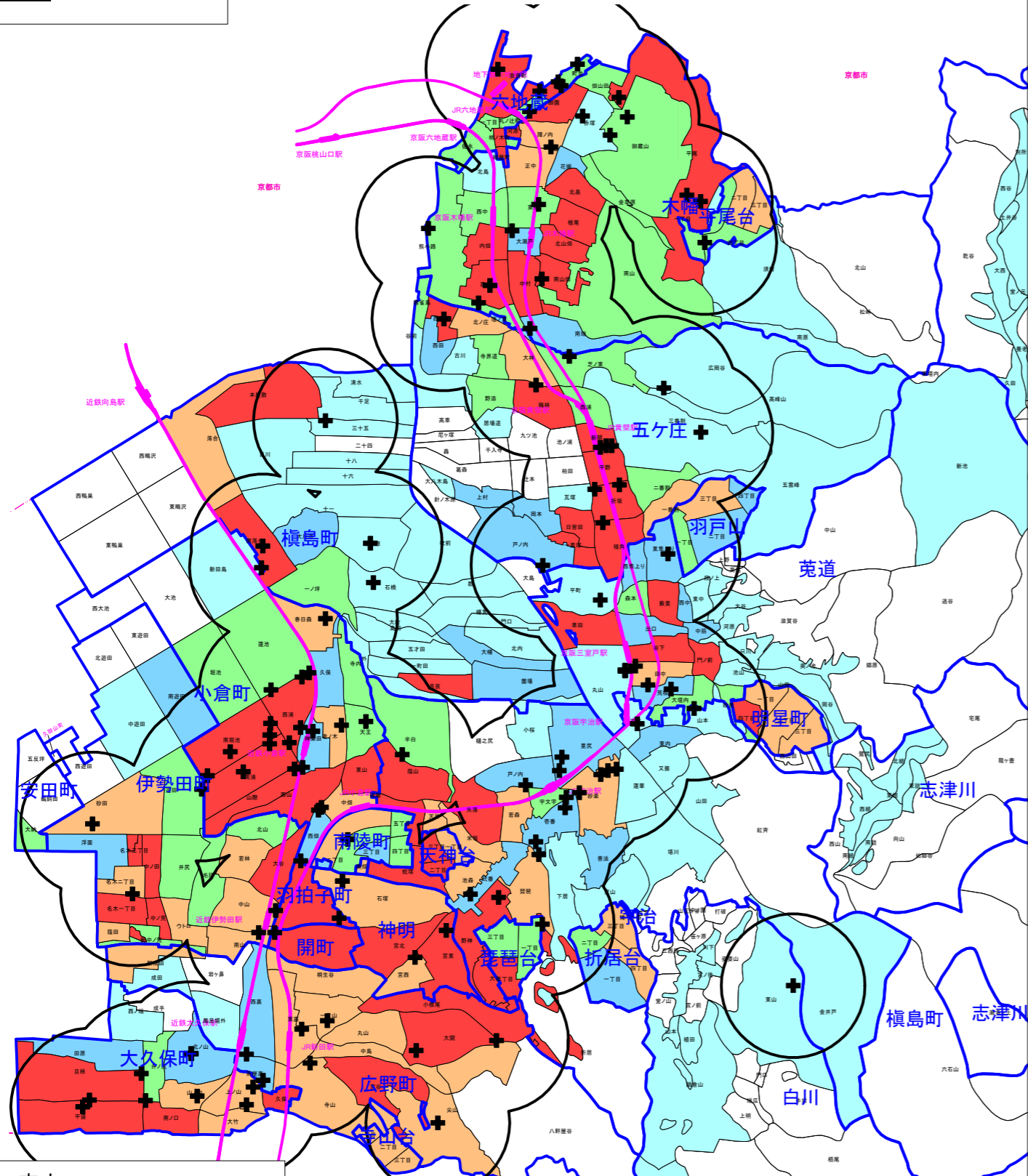
※1  
基幹的公共交通路線（日当たり30本以上の路線）の鉄道駅から800m、バス停の徒歩圏300mに居住する人口の総人口に占める比率  
※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合(2020年)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）  
より内科、外科を抽出



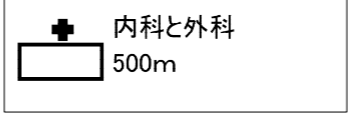
人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

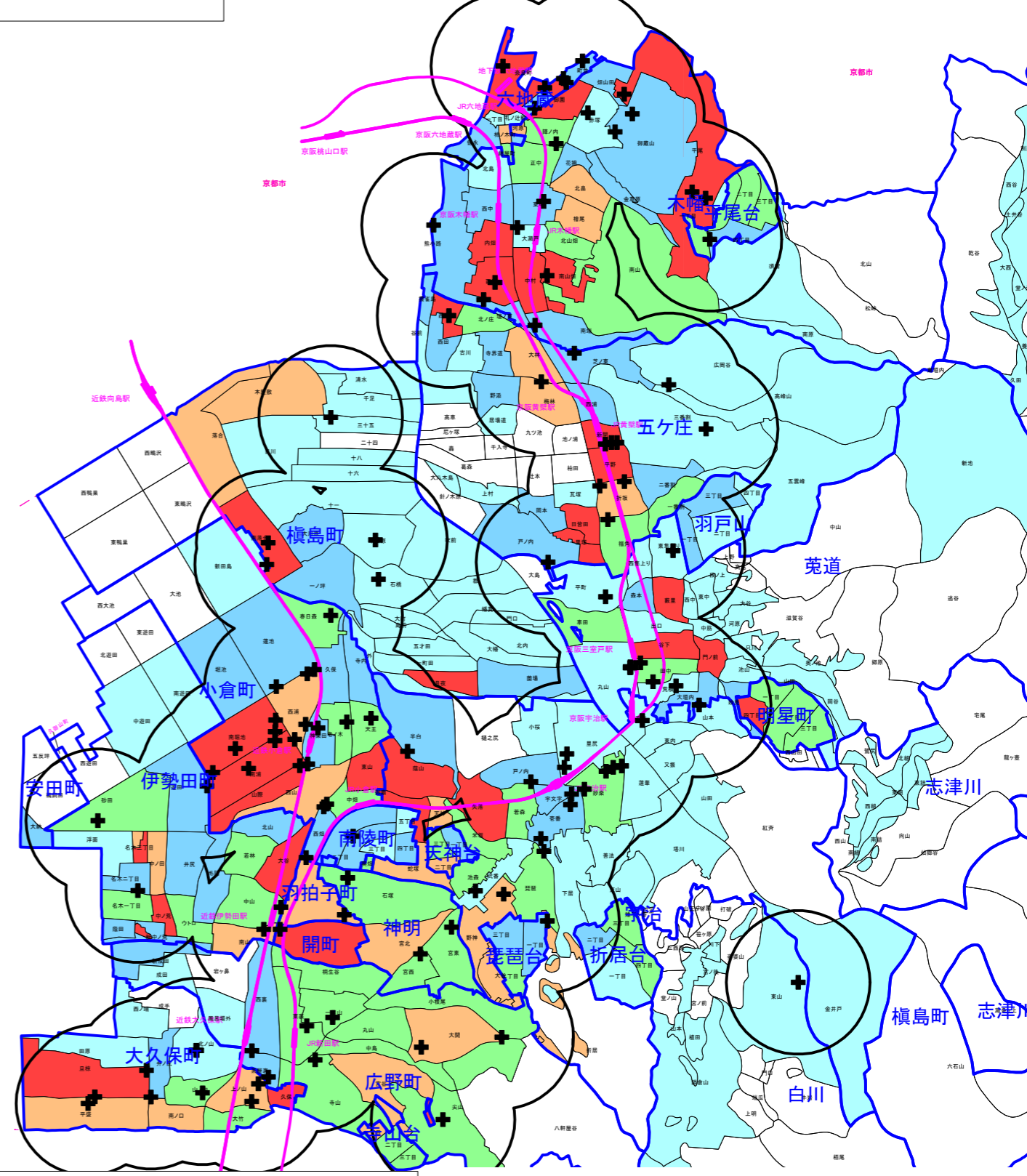
〔高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合※1の算出〕  
 (総人口 (183,546人) - 医療施設の徒歩圏内人口 (158,708人)) = 24,838人  
 ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 11,394戸  
 総人口 (183,546人) ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 84,195戸  
 医療機関がない住宅戸数 (11,394戸) ÷ 総戸数 (84,195戸) = 13.5%

※1 施設の徒歩圏500mの区域外に居住する人口÷平均世帯当たり人数=住宅数として、全体数に占める比率  
 ※2 2020年9月1日宇治市HP掲載人口185,319人÷84,646世帯=2.18人/世帯  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合(2040年)



出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）  
より内科、外科を抽出



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

〔高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合※1の算出〕  
 (総人口 (139,554人) - 医療施設の徒歩圏内人口 (120,726人)) = 18,828人  
 ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 8,637戸  
 総人口 (139,554人) ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 64,016戸  
 医療機関がない住宅戸数 (8,637戸) ÷ 総戸数 (64,016戸) = 13.5%

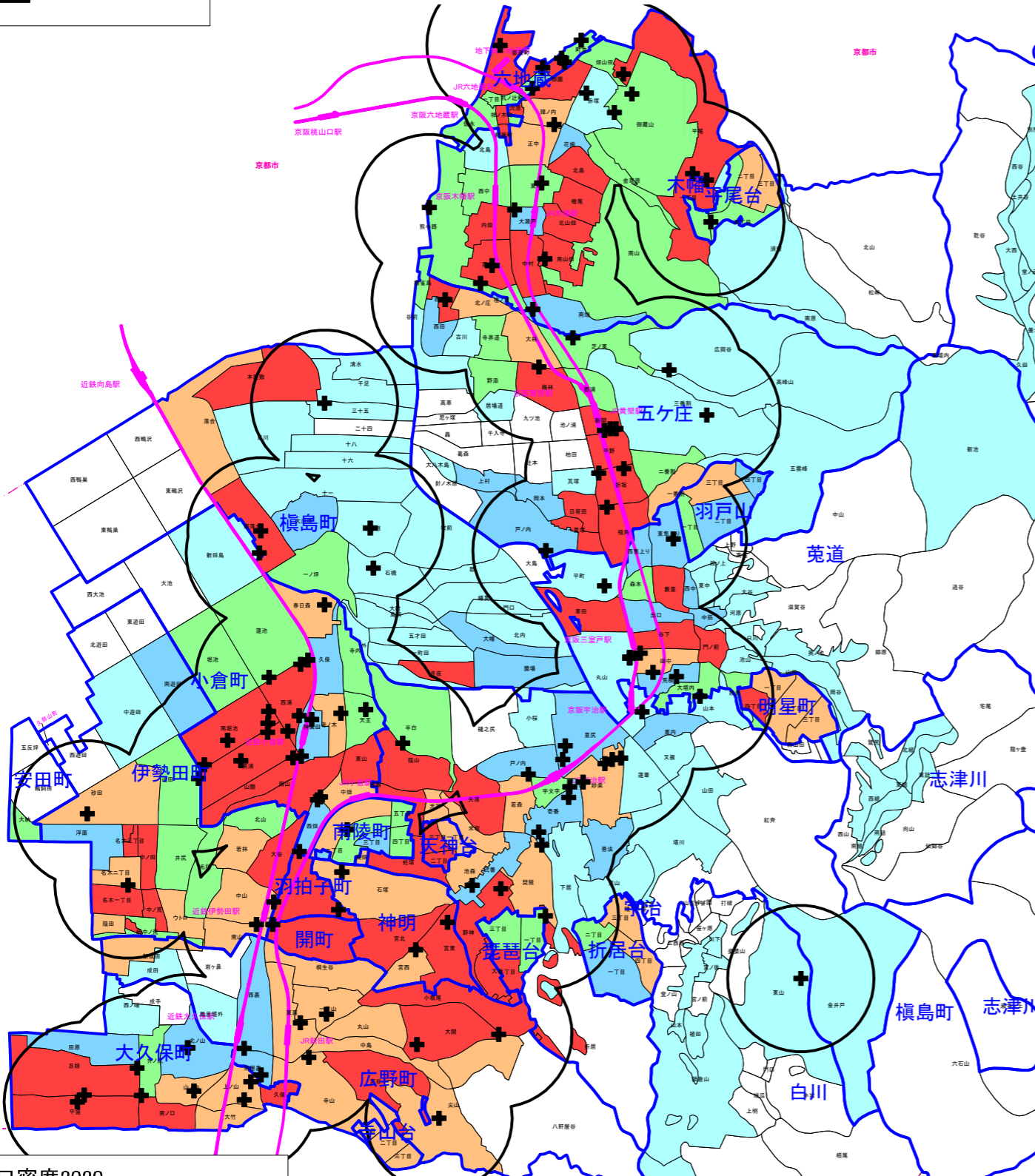
※1 施設の徒歩圏500mの区域外に居住する人口÷平均世帯当たり人数=住宅数として、全体数に占める比率  
 ※2 2020年9月1日宇治市HP掲載人口185,319人÷84,646世帯=2.18人/世帯  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合(2020年)

 内科と外科  
 500m

出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）より内科、外科を抽出





人口密度2020 (人/ha)

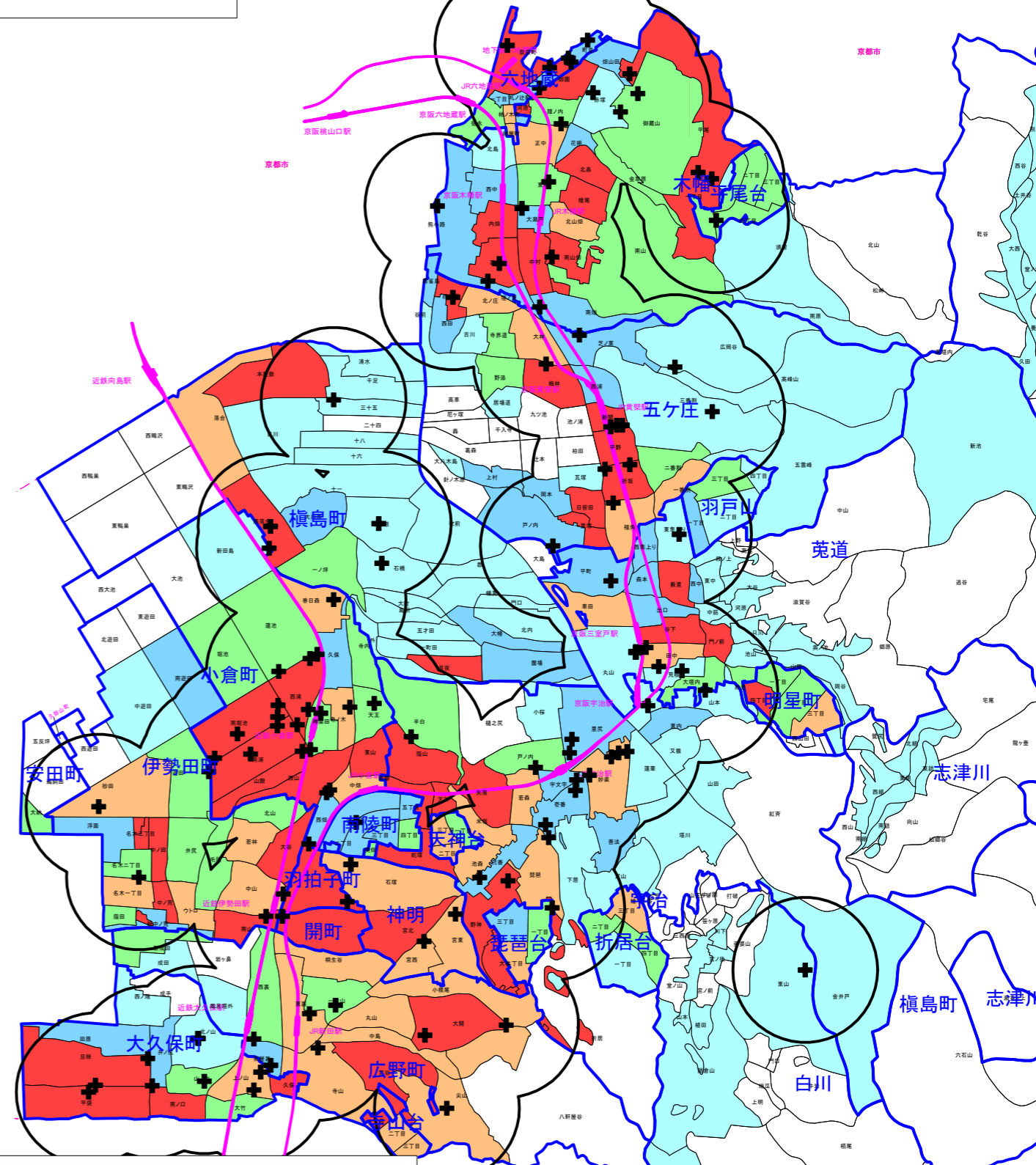
|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

**〔高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合※1の算出〕**  
 (総人口 (183,546人) - 医療施設の徒歩圏内人口 (158,708人)) = 24,838人  
 ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 11,394戸  
 総人口 (183,546人) ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 84,195戸  
 医療機関がない住宅戸数 (11,394戸) ÷ 総戸数 (84,195戸) = 13.5%  
 ※1 施設の徒歩圏500mの区域外に居住する人口÷平均世帯当たり人数=住宅数として、全体数に占める比率  
 ※2 2020年9月1日宇治市HP掲載人口185,319人÷84,646世帯=2.18人/世帯  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合(2040年)

 内科と外科  
 500m

出典：国土数値情報＞医療機関データ（平成22年度）より内科、外科を抽出



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

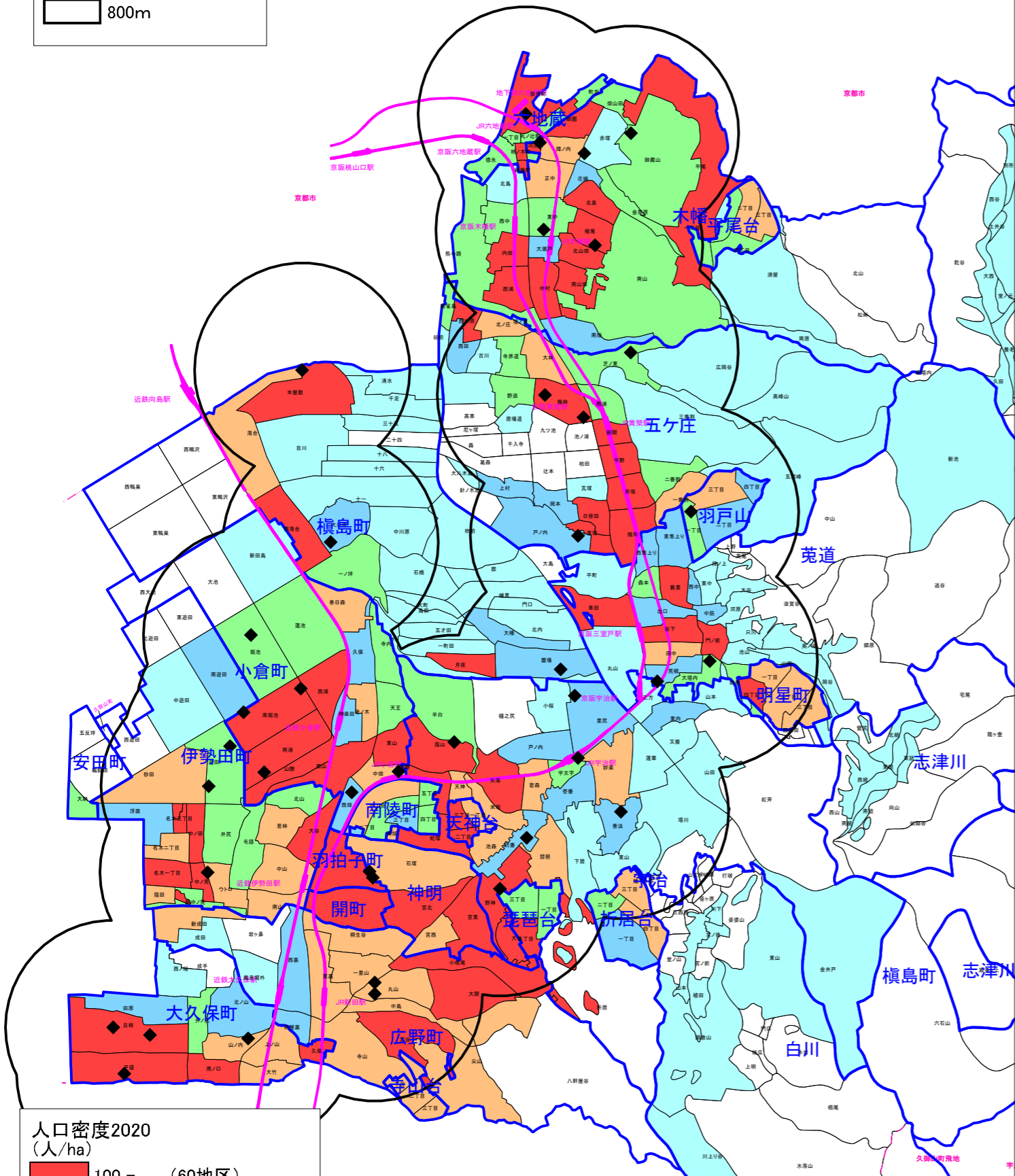
**〔高齢者徒歩圏における医療機関がない住宅の割合※1の算出〕**  
 (総人口 (167,893人) - 医療施設の徒歩圏内人口 (145,443人)) = 22,450人  
 ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 10,298戸  
 総人口 (167,893人) ÷ 世帯当たり人数※2 (2.18人/世帯) = 77,015戸  
 医療機関がない住宅戸数 (10,298戸) ÷ 総戸数 (77,015戸) = 13.4%  
 ※1 施設の徒歩圏500mの区域外に居住する人口÷平均世帯当たり人数=住宅数として、全体数に占める比率  
 ※2 2020年9月1日宇治市HP掲載人口185,319人÷84,646世帯=2.18人/世帯  
 ※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度





# 保育所(幼稚園を含む)の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 公共施設小分類コード（19013保育所、16011幼稚園）



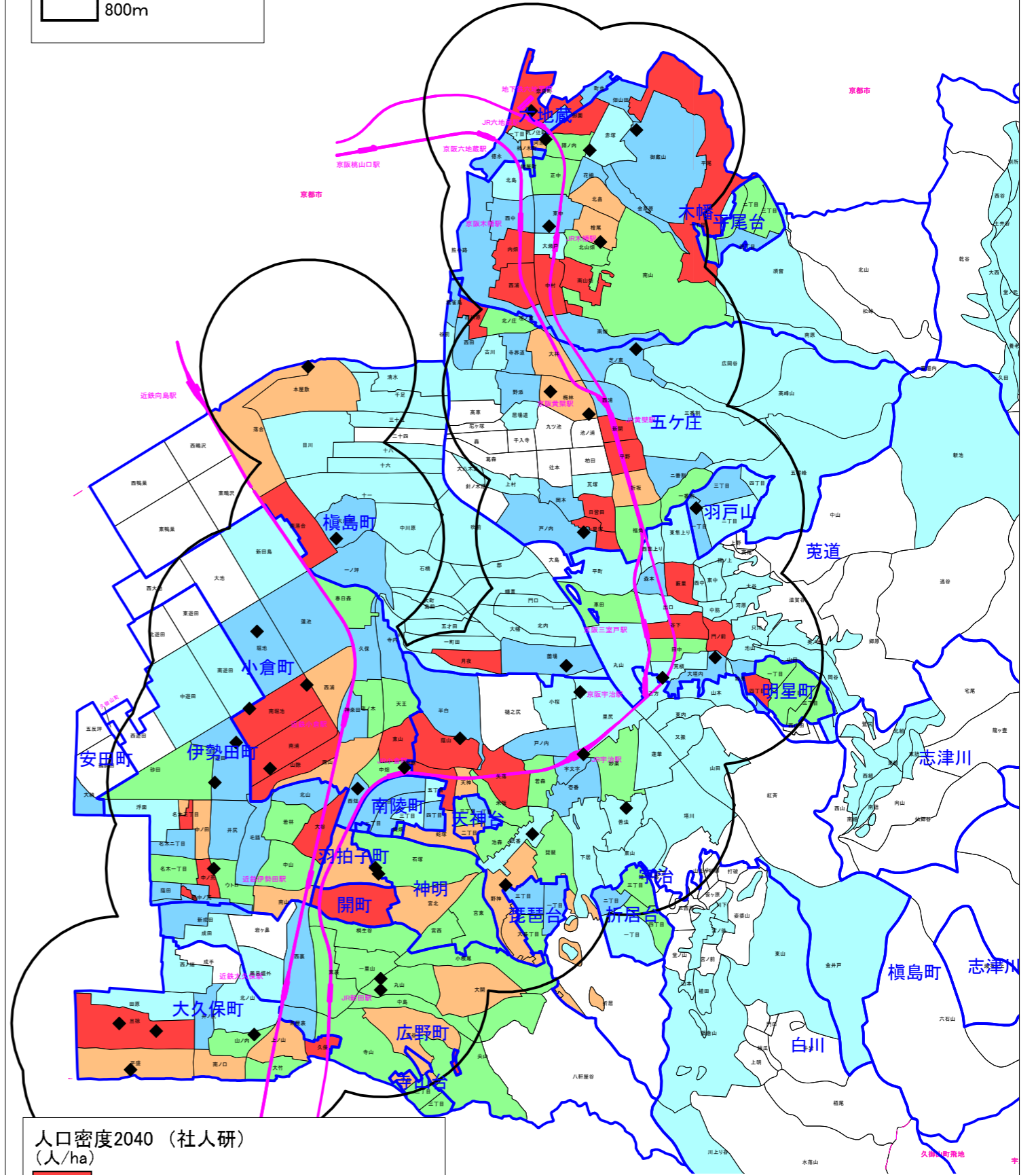
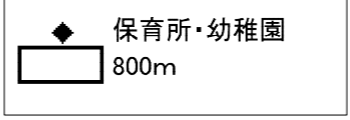
人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

[保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率\*の算出]  
 保育所の徒歩圏内0～4歳人口(5,741人)÷0～4歳人口(6,436人)=89.2%  
 ※1 保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度

# 保育所(幼稚園を含む)の徒歩圏(2040年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 公共施設小分類コード（19013保育所、16011幼稚園）



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

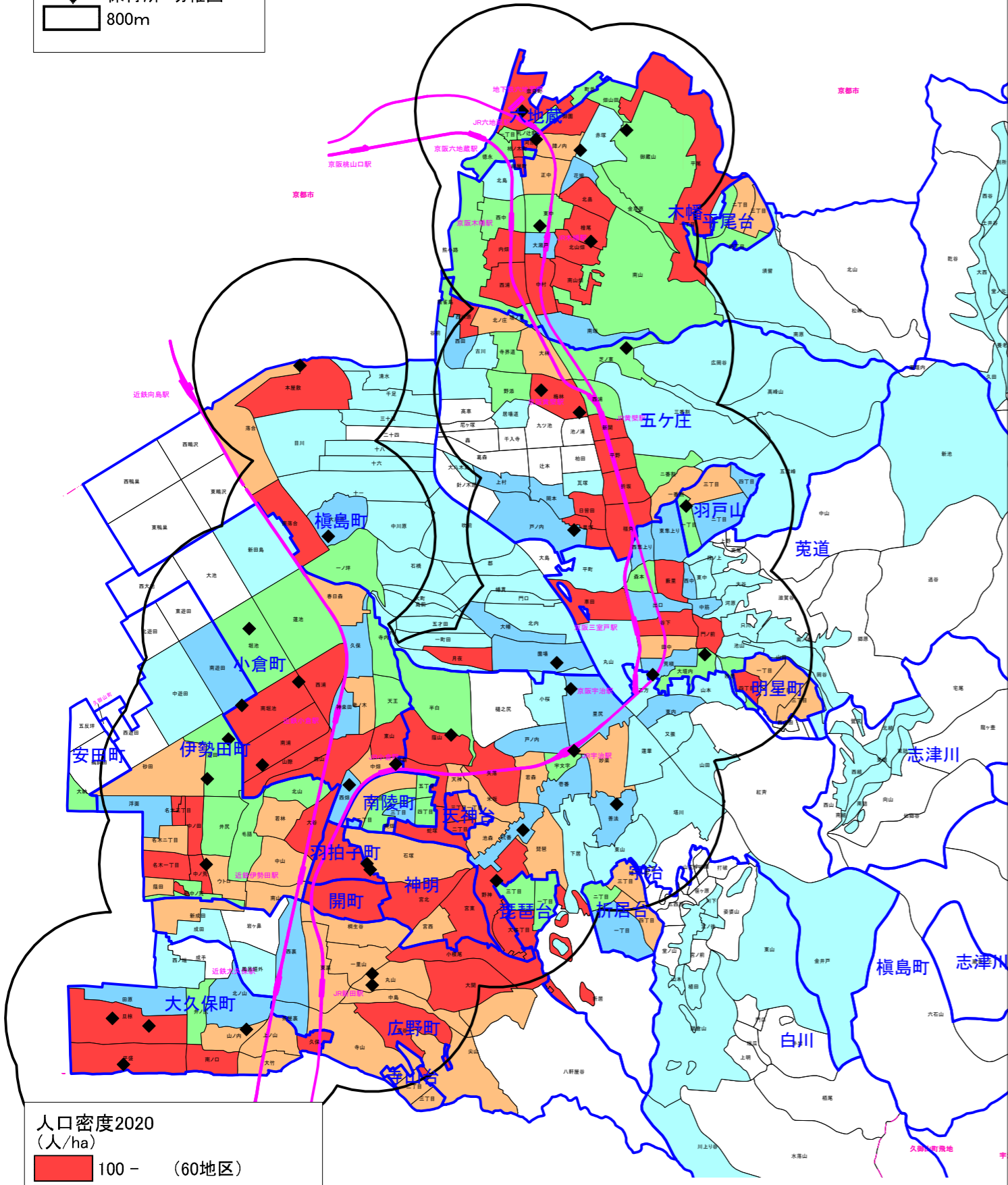
[保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率\*の算出]  
 保育所の徒歩圏内0～4歳人口(3,805人)÷0～4歳人口(4,293人)=88.6%  
 ※1 保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率  
 ※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度



# 保育所(幼稚園を含む)の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 公共施設小分類コード（19013保育所、16011幼稚園）

◆ 保育所・幼稚園  
 □ 800m



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

【保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率<sup>※1</sup>の算出】  
 保育所の徒歩圏内0～4歳人口(5,741人) ÷ 0～4歳人口(6,436人) = 89.2%

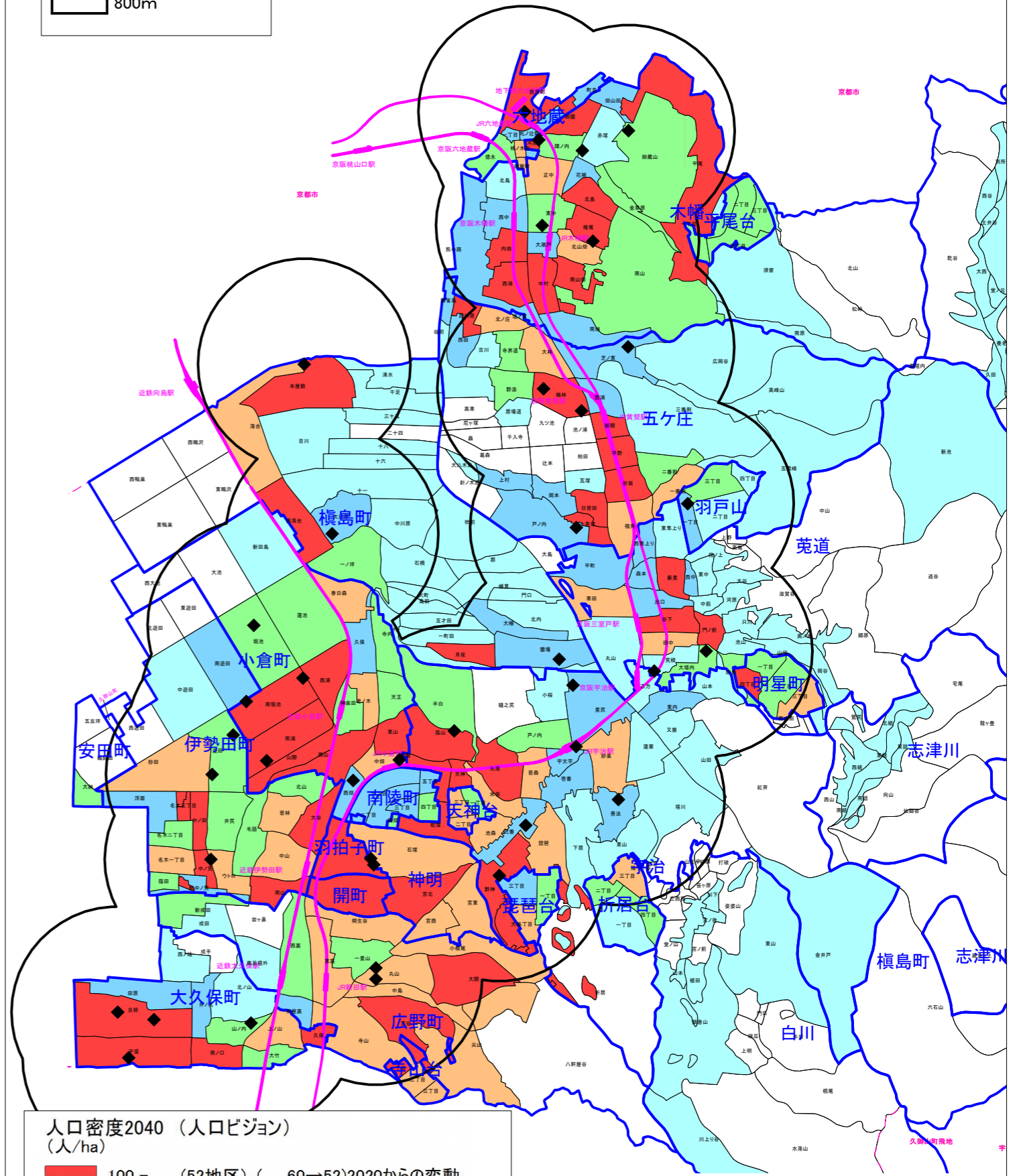
※1  
 保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 保育所(幼稚園を含む)の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

出典：国土数値情報＞福祉施設データ（平成27年度）  
 公共施設小分類コード（19013保育所、16011幼稚園）

◆ 保育所・幼稚園  
 □ 800m



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

【保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率<sup>※1</sup>の算出】  
 保育所の徒歩圏内0～4歳人口(7,307人) ÷ 0～4歳人口(8,239人) = 88.7%

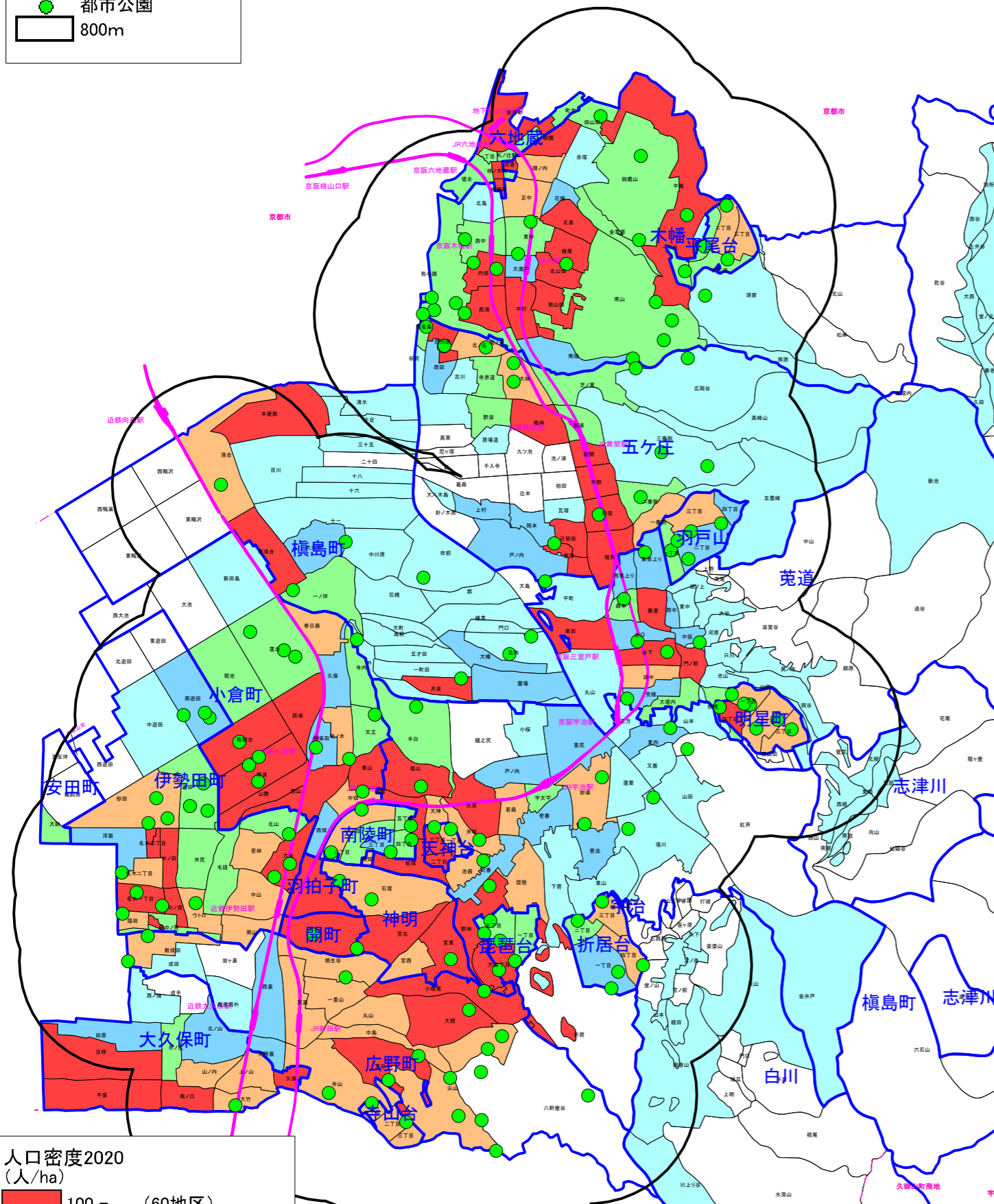
※1  
 保育所の半径800m圏域に居住する0～5歳人口の0～5歳総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 公園緑地の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞都市公園データ（平成23年度）



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

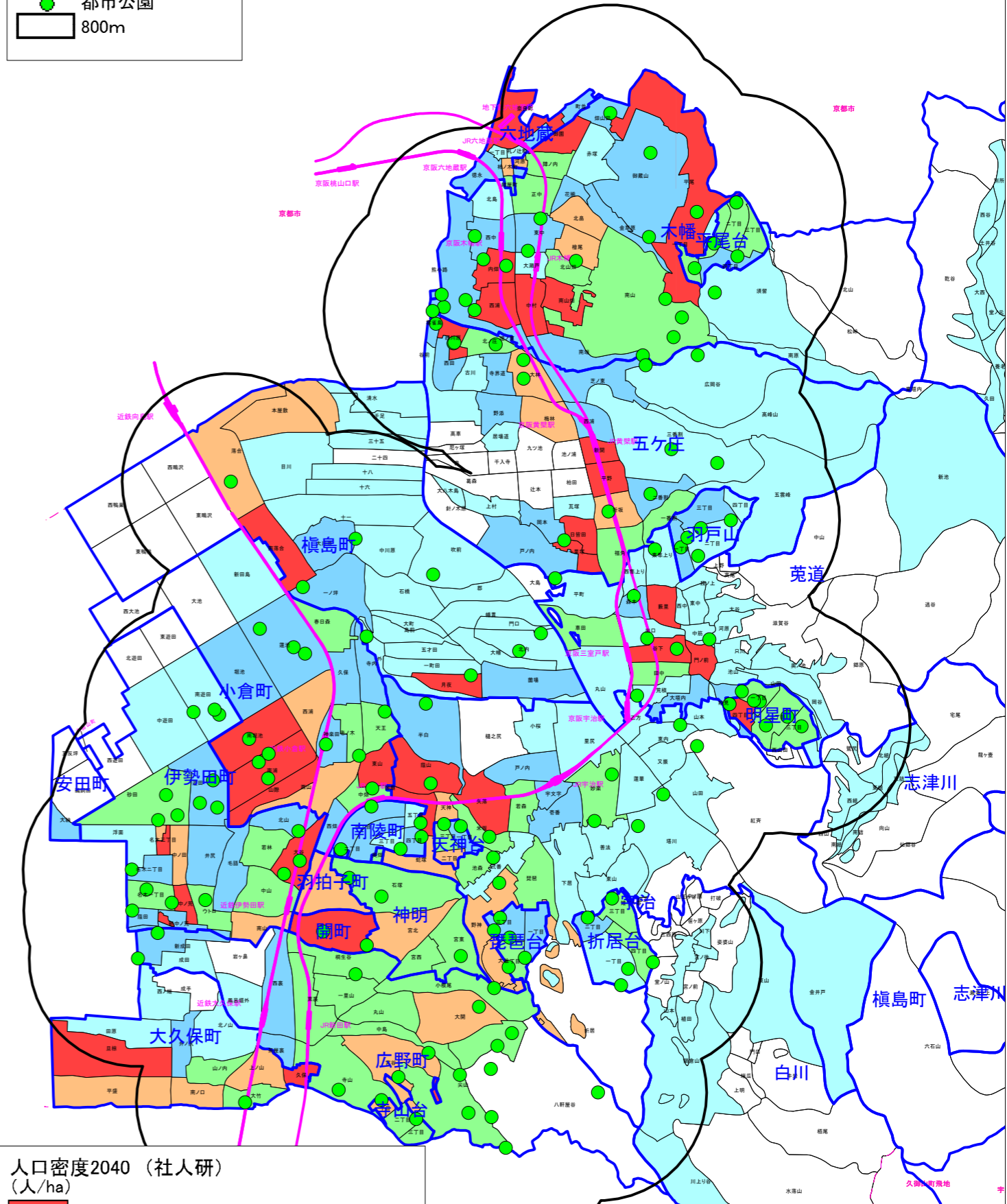
〔公園緑地の徒歩圏人口カバー率\*の算出〕  
公園緑地の徒歩圏人口 (180,274人) ÷ 総人口 (183,546人) = 98.2%

※1  
公園緑地の半径800m圏域に居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 公園緑地の徒歩圏(2040年)

出典：国土数値情報＞都市公園データ（平成23年度）



人口密度2040 (社人研) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (31地区) (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区) (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区) (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区) (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) (89→113)        |

〔公園緑地の徒歩圏人口カバー率\*の算出〕  
公園緑地の徒歩圏人口 (137,366人) ÷ 総人口 (139,554人) = 98.4%

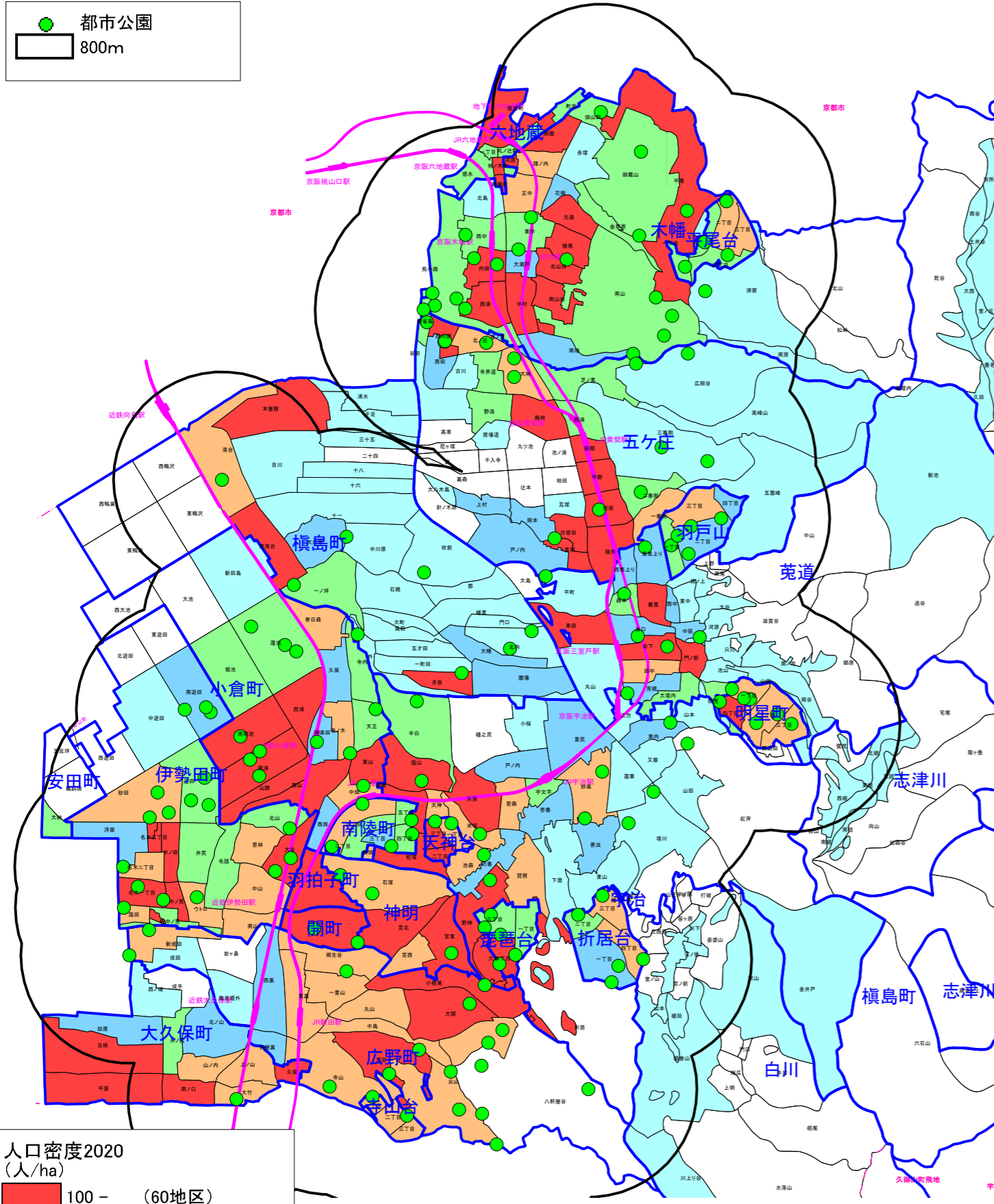
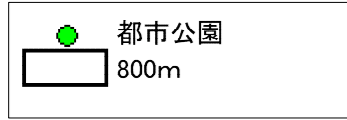
※1  
公園緑地の半径800m圏域に居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度



# 公園緑地の徒歩圏(2020年)

出典：国土数値情報＞都市公園データ（平成23年度）



人口密度2020 (人/ha)

|          |        |
|----------|--------|
| 100 -    | (60地区) |
| 80 - 100 | (50地区) |
| 60 - 80  | (43地区) |
| 40 - 60  | (36地区) |
| 0 - 40   | (89地区) |

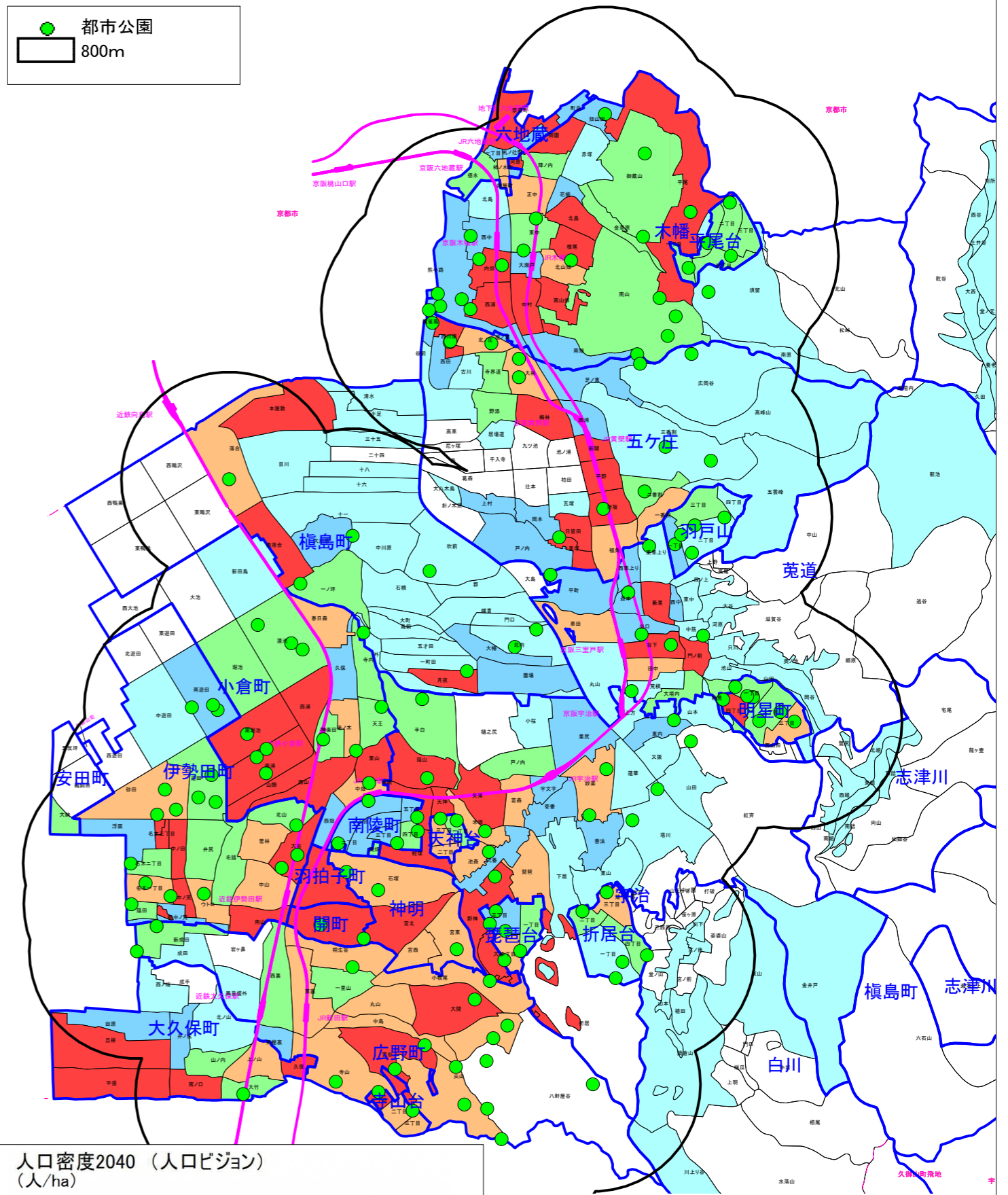
[公園緑地の徒歩圏人口カバー率\*の算出]  
公園緑地の徒歩圏人口 (180,274人) ÷ 総人口 (183,546人) = 98.2%

※1  
公園緑地の半径800m圏域に居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

# 公園緑地の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

出典：国土数値情報＞都市公園データ（平成23年度）



人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 100 -    | (52地区) (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) (89→95)          |

[公園緑地の徒歩圏人口カバー率\*の算出]  
公園緑地の徒歩圏人口 (165,357人) ÷ 総人口 (167,893人) = 98.5%

※1  
公園緑地の半径800m圏域に居住する人口の総人口に占める比率

※40人/ha以上：人口集中地区（DID）の基本単位区の人口密度

## ■2040年の将来人口予測における市街地密度の低下による医療施設立地及び商業施設立地の仮説

2040年の将来人口予測に対して現状施設の立地の存在についての仮説を立て、医療施設、商業施設の徒歩圏人口及び徒歩圏面積の想定を行う。

### 【施設立地の仮説】

「都市構造の評価に関するハンドブック」(H26/6 国土交通省都市局都市計画課)による生活サービス機能(医療施設・商業施設)のケース分析から以下の手順で想定することとした。

### 【ケース分析1：施設数あたりのメッシュ平均人口密度分析】

全国から抽出した25都市のすべての500mメッシュデータを対象に医療施設数と商業施設数との関係を分析。この分析をもとに、施設数あたりのメッシュ平均人口密度をグラフ化している。(グラフ1)

- ① ケース分析1の結果をもとに1施設として立地する平均人口密度(A：立地判断人口密度)を算出する。
- ② 宇治市における1施設ごとの500mメッシュの人口密度を算出し、立地判断施設(C)〔 $A > B$ 〕を抽出する。
- ③ 存続施設(現状施設ー立地判断施設)に対しての徒歩圏人口(C)(施設より800m)を算出する。

### 【ケース分析2：メッシュ人口密度と施設存在確率にかかる分析】

全国から抽出した25都市のすべての500mメッシュデータを対象に医療施設数と商業施設数との関係分析をもとに、メッシュ人口密度階層毎に1以上の都市機能施設が存在する確率を算出し、その関係をグラフ化している。(グラフ2)

- ④ 立地判断施設に対する平均人口密度(D)を算出する。
- ⑤ 平均人口密度からケース分析2より、施設の平均存在確率(E)を算出する。
- ⑥ 現状施設すべてが存在することとして算出した徒歩圏人口(F)から③存続施設徒歩圏人口(C)を差し引いた値に対して⑤平均存在確率(E)を乗じ、立地判断施設の徒歩圏人口(G)として算出する。

$$\textcircled{7} \text{ 各施設(医療施設、商業施設)の徒歩圏人口(H) = (C) + (G)}$$

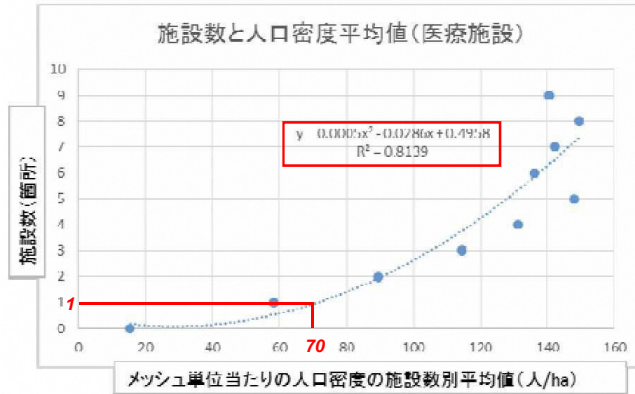
- ⑧ 徒歩圏面積についても、同様に現状施設すべてが存在することとして算出した徒歩圏面積から存続施設徒歩圏面積を差し引いた値に対して⑤平均存在確率(E)を乗じ、立地判断施設の徒歩圏面積として算出する。その上で、存続施設と立地判断施設の徒歩圏面積を加えることで各施設(医療施設、商業施設)全体の徒歩圏面積(I)とする。



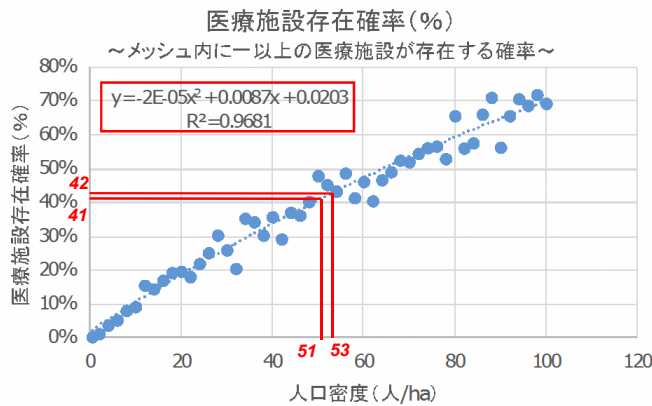
## ■医療施設

医療施設の立地存在の判断においては、ベット数 20 床以上の「病院」について、2次医療施設の指定されている施設もあることから立地存在の判断対象とせず、将来的にも立地することとする。

ケース分析 1 グラフ 1



ケース分析 2 グラフ 2



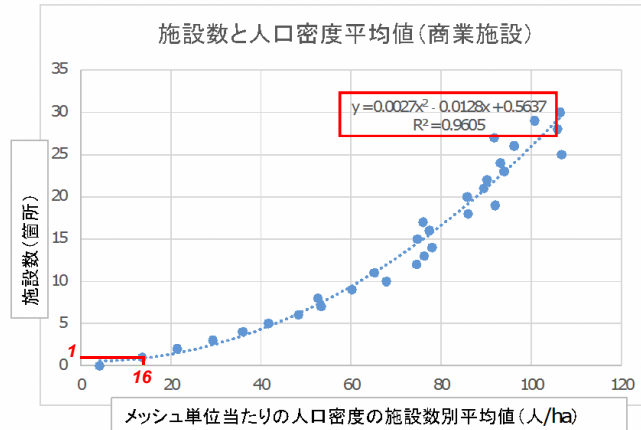
(出典：「都市構造の評価に関するハンドブック」)

### ◇2040 年将来人口予測 医療施設徒歩圏人口・徒歩圏面積

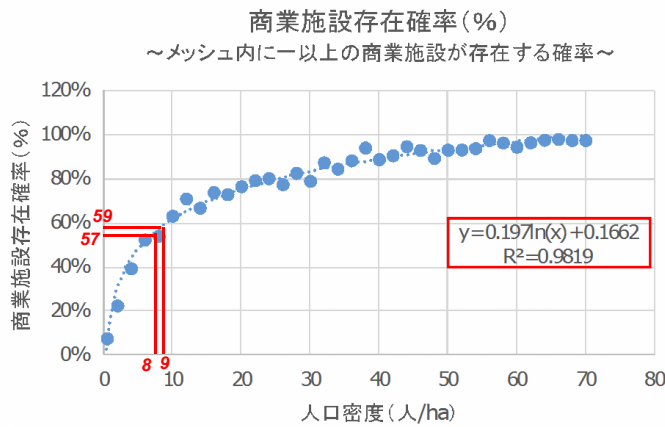
| 医療施設                | 2040 年将来人口予測       |                       |
|---------------------|--------------------|-----------------------|
|                     | 社人研<br>(139,554 人) | 人口ビジョン<br>(167,893 人) |
| A (立地判定人口密度)        | 70 人/ha            | 70 人/ha               |
| B (立地判断施設数)         | 55 施設              | 35 施設                 |
| C (存続施設徒歩圏人口)       | 129,431 人          | 159,079 人             |
| D (立地判断施設平均人口密度)    | 51 人/ha            | 53 人/ha               |
| E (平均存在確率)          | 41%                | 42%                   |
| F (現状施設すべて存在時徒歩圏人口) | 138,673 人          | 166,875 人             |
| G (立地判断施設徒歩圏人口)     | 3,789 人            | 3,274 人               |
| H (医療施設徒歩圏人口)       | 133,220 人          | 162,353 人             |
| I (医療施設徒歩圏面積)       | 2,725ha            | 2,900ha               |

## 商業施設

### ケース分析1 グラフ1



### ケース分析2 グラフ2



(出典：「都市構造の評価に関するハンドブック」)

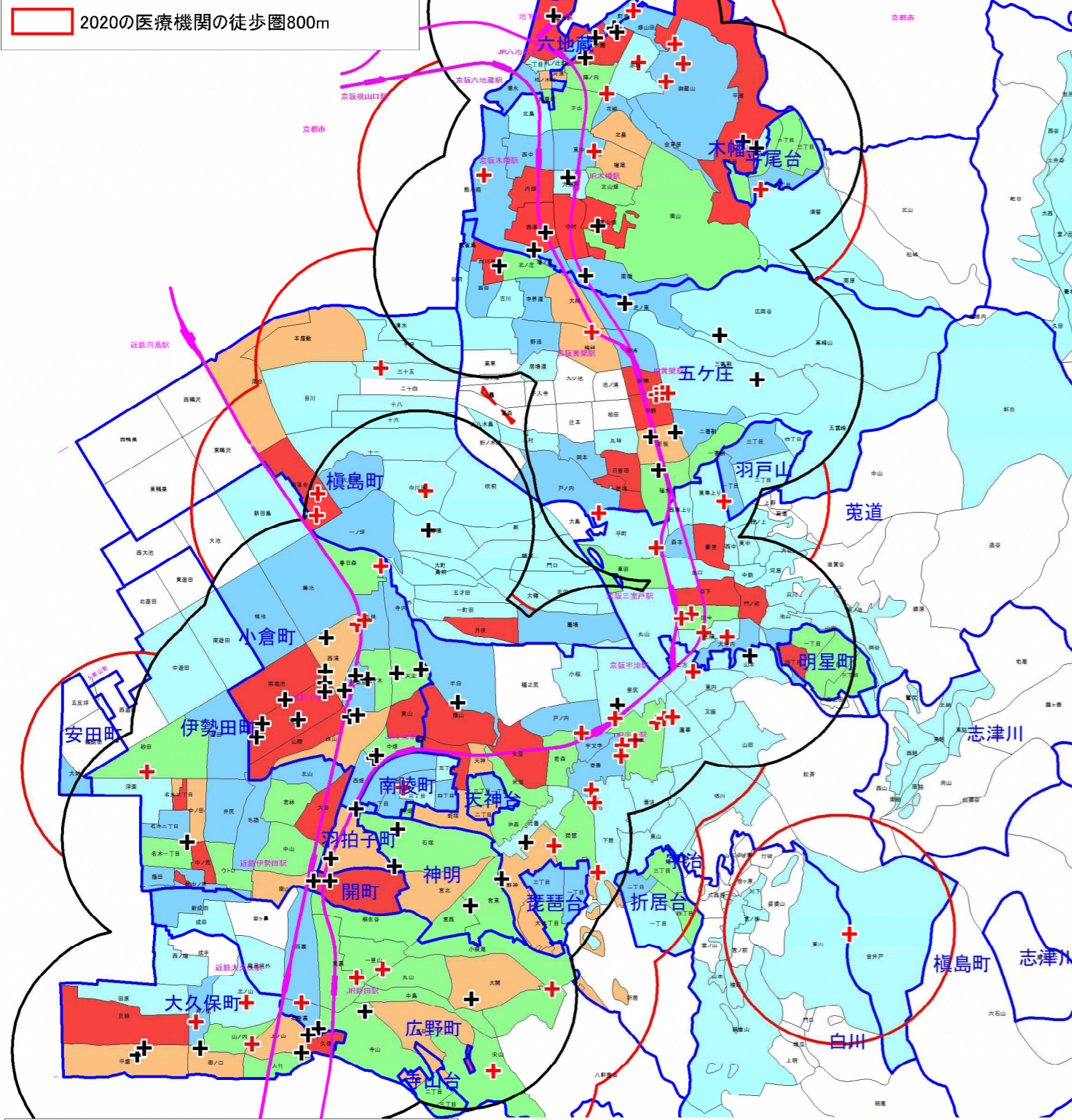
### ◇2040年将来人口予測 商業施設徒歩圏人口・徒歩圏面積

| 商業施設                | 2040年将来人口予測       |                      |
|---------------------|-------------------|----------------------|
|                     | 社人研<br>(139,554人) | 人口ビジョン<br>(167,893人) |
| A (立地判定人口密度)        | 16人/ha            | 16人/ha               |
| B (立地判断施設数)         | 4施設               | 3施設                  |
| C (存続施設徒歩圏人口)       | 133,502人          | 160,619人             |
| D (立地判断施設平均人口密度)    | 8人/ha             | 9人/ha                |
| E (平均存在確率)          | 57%               | 59%                  |
| F (現状施設すべて存在時徒歩圏人口) | 133,502人          | 160,619人             |
| G (立地判断施設徒歩圏人口)     | 一人                | 一人                   |
| H (商業施設徒歩圏人口)       | 133,502人          | 160,619人             |
| I (商業施設徒歩圏面積)       | 2,500ha           | 2,500ha              |

# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2040年)

## 医療施設(内科と外科) 2040社人研

- + 2040存続施設 (58)
- + 2040立地判断施設 (55)
- 2040の医療機関の徒歩圏800m(社人研)
- 2020の医療機関の徒歩圏800m



### 人口密度2040 (社人研) (人/ha)

- 100 - (31地区) (60→31)2020からの変動
- 80 - 100 (26地区) (50→26)
- 60 - 80 (50地区) (43→50)
- 40 - 60 (58地区) (36→58)
- 0 - 40 (113地区) (89→113)

〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (133, 220人) ÷ 総人口 (139, 554人) = 95. 5%

〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (133, 220人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (2, 725ha) = 48. 9人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

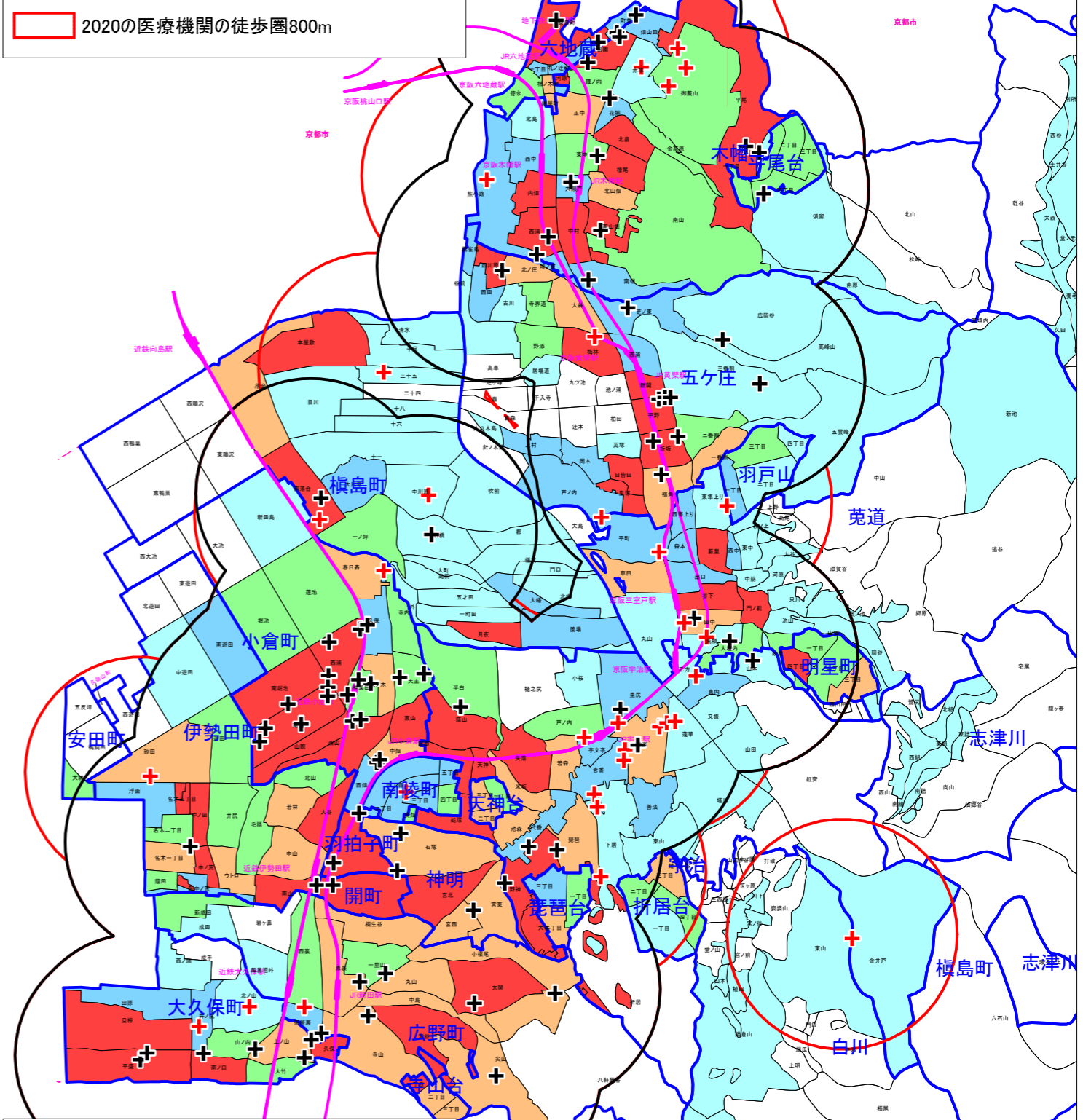
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度

# 医療施設(内科、外科)の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

## 医療施設内科と外科 2040市ビジョン

- + 2040存続施設 (78)
- + 2040立地判断施設 (35)
- 2040の医療機関の徒歩圏800m(人口ビジョン)
- 2020の医療機関の徒歩圏800m



### 人口密度2040 (人口ビジョン) (人/ha)

- 100 - (52地区) (60→52)2020からの変動
- 80 - 100 (42地区) (50→42)
- 60 - 80 (44地区) (43→44)
- 40 - 60 (45地区) (36→45)
- 0 - 40 (95地区) (89→95)

〔医療施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (162, 353人) ÷ 総人口 (167, 893人) = 96. 7%

〔医療施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出〕  
 医療施設の徒歩圏内人口 (162, 353人) ÷ 医療施設徒歩圏面積 (2, 900ha) = 56. 0人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率

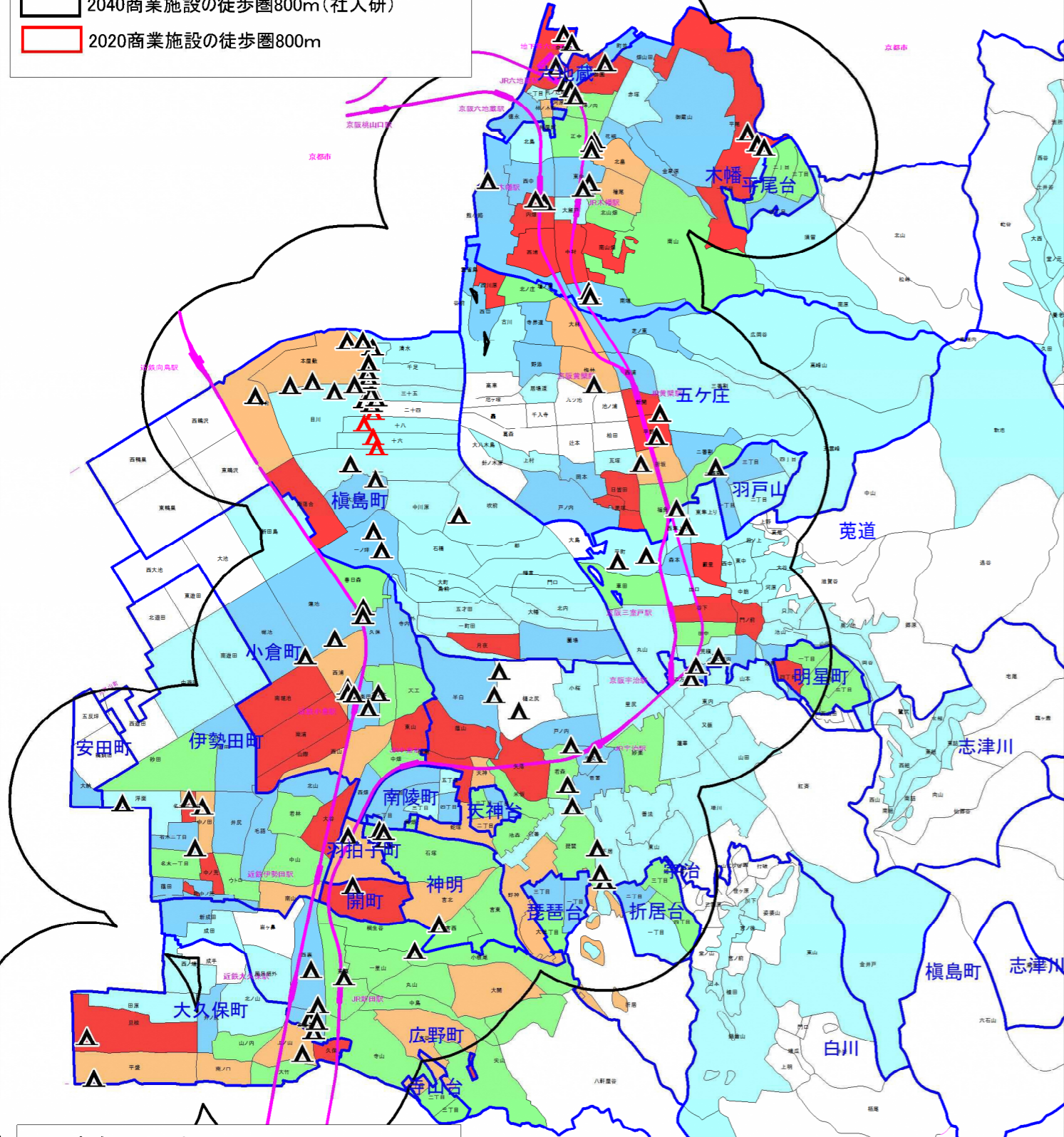
※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

※40人/ha以上：人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度



# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2040年)

- 商業施設
- ▲ 2040存続施設 (92)
  - ▲ 2040立地判断施設 (4)
  - ◻ 2040商業施設の徒歩圏800m(社人研)
  - ◻ 2020商業施設の徒歩圏800m



人口密度2040 (社人研)  
(人/ha)

|          |         |                  |
|----------|---------|------------------|
| 100 -    | (31地区)  | (60→31)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (26地区)  | (50→26)          |
| 60 - 80  | (50地区)  | (43→50)          |
| 40 - 60  | (58地区)  | (36→58)          |
| 0 - 40   | (113地区) | (89→113)         |

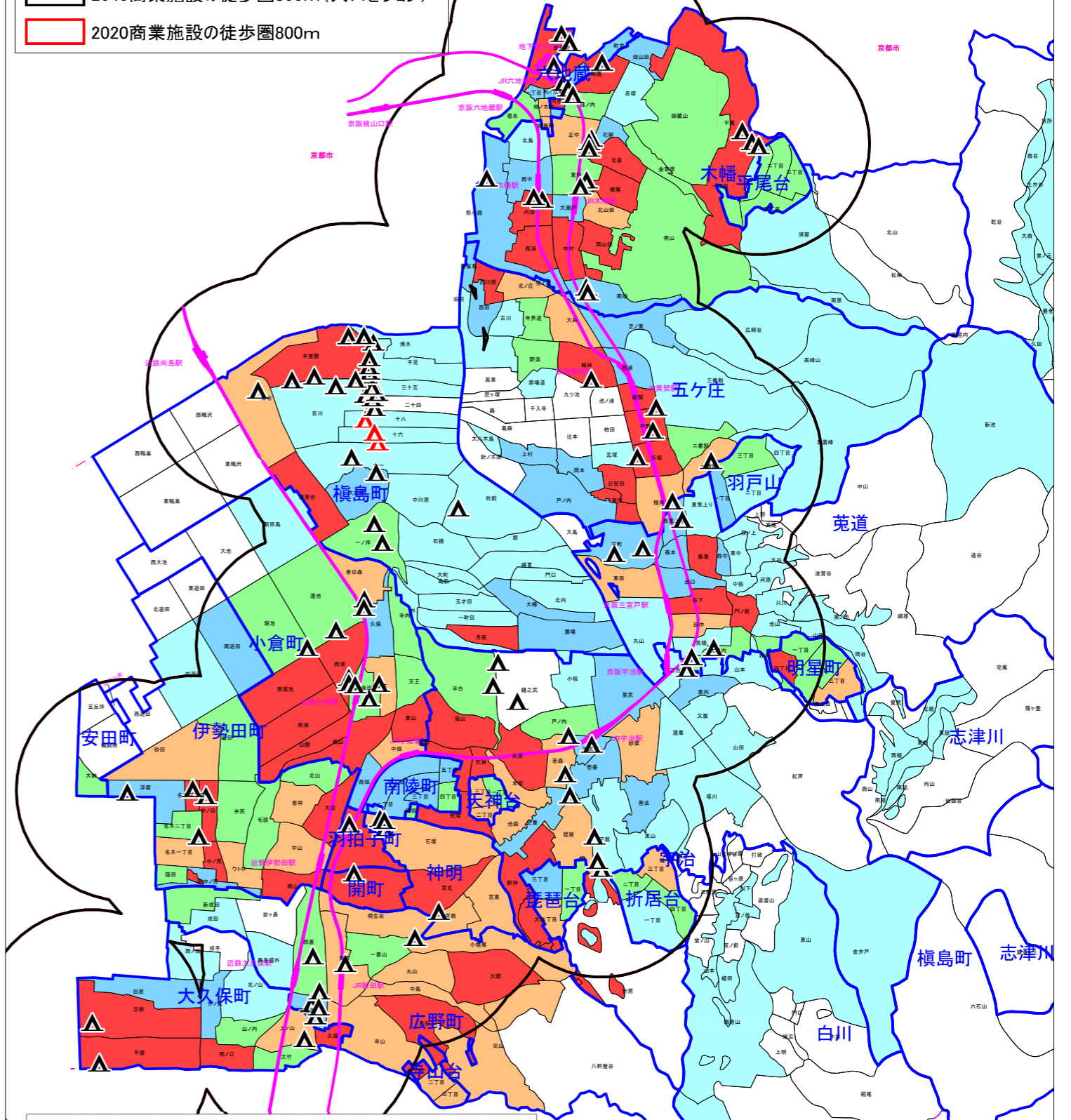
[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (133,502人) ÷ 総人口 (139,554人) = 95.7%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (133,502人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 53.4人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

※40人/ha以上: 人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度

# 商業施設(スーパーマーケット等)の徒歩圏(2040年人口ビジョン)

- 商業施設
- ▲ 2040存続施設 (93)
  - ▲ 2040立地判断施設 (3)
  - ◻ 2040商業施設の徒歩圏800m(人口ビジョン)
  - ◻ 2020商業施設の徒歩圏800m



人口密度2040 (人口ビジョン)  
(人/ha)

|          |        |                  |
|----------|--------|------------------|
| 100 -    | (52地区) | (60→52)2020からの変動 |
| 80 - 100 | (42地区) | (50→42)          |
| 60 - 80  | (44地区) | (43→44)          |
| 40 - 60  | (45地区) | (36→45)          |
| 0 - 40   | (95地区) | (89→95)          |

[商業施設の徒歩圏人口カバー率<sup>※1</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (160,619人) ÷ 総人口 (167,893人) = 95.7%  
 [商業施設の徒歩圏人口密度<sup>※2</sup>の算出]  
 商業施設の徒歩圏内人口 (160,619人) ÷ 商業施設徒歩圏面積 (2,500ha) = 64.2人/ha

※1 各施設の徒歩圏800mの区域内に居住する人口の総人口に占める比率  
 ※2 各施設の徒歩圏800mの区域内における平均人口密度

※40人/ha以上: 人口集中地区(DID)の基本単位区の人口密度